

令和 2 年

子供と働き盛り世代の食習慣状況調査
報告書

令和 4 年 1 月

秋田県

目 次

I	調査の概要	1
II	集計客体 調査対象校一覧	4
III	結果の概要	
1	子供と働き盛りの食習慣状況調査（アンケート調査）	
	（1）児童の状況	6
	（2）主に調理を担当する保護者の状況	10
	（3）主に調理を担当しない保護者の状況	19
2	学校給食みそ汁塩分濃度測定	24
3	調査結果のまとめと考察	27
IV	施策の方向性について	30
V	資料編	
1	調査票	
2	学校給食みそ汁塩分濃度測定事務取扱要項（学校・給食センター版） 学校給食みそ汁塩分濃度測定事務取扱要項（保健所版）	

I 調査の概要

1 調査の目的

県民の健康寿命延伸のため、将来を担う子供とその保護者である働き盛り世代の食習慣及び意識や環境を調査し、健康づくり及び生活習慣病予防を進める施策の企画立案に関する基礎資料と評価指標のベースラインを得るものである。

2 調査の種類

アンケート調査（子供と働き盛りの食習慣状況調査）及び学校給食みそ汁塩分濃度測定の2種である。

3 調査の内容

（1）アンケート調査

①調査対象及び客体

平成28年に実施した同調査の対象となった小学校（25市町村71校）の第6学年（平成28年当時は第2学年）に、調査期間中に在籍している児童及びその保護者である。

なお、調査対象は平成28年調査時に、調査地域を秋田県全域とし小学校を単位として、小学校数が1校の市町村は1校、小学校数が複数の市町村は、県人口按分による数と市町村単位で評価をするための児童数が95%信頼区間で回収率が50%程度を見込む場合のサンプル数とが下まわらなくなるまで、層化無作為抽出をしたものである。

これらのことにより、小学校71校の児童3,449世帯を調査客体とし、3,201世帯の、児童とその保護者（またはいずれか）からの協力が得られた。（集計客体一覧参照）

②調査時期

令和2年11月9日から11月25日まで

③調査方法

「児童」「主に調理を担当する保護者」「主に調理を担当しない保護者」の最大3人が回答する自己記入式調査票を、学校を介して配布、回収した。

④調査の構成及び項目

【児童】

平成28年の調査項目に加え、学校給食と家庭食の味付けに対する意識、ヘルスリテラシー、健康に対する意識付けと将来への展望に関する項目

【主に調理を担当する保護者】

平成28年の調査項目に加え、調査実施後の変化、ヘルスリテラシー、野菜摂取状況、調理に対する意識や環境に関する項目

【主に調理を担当しない保護者】

ヘルスリテラシー、野菜摂取状況、食行動に関する項目

※平成28年調査の構成及び項目

【子供の食習慣を形成する環境、働き盛り世代の食に対する考え方と取組】

子供の家庭環境、子供の食習慣の問題、保護者（働き盛り世代）の食習慣の状況、保護者（働き盛り世代）の食に対する意識、保護者（働き盛り世代）の食に対する知識、保護者の子供の食に対する関心

(2) 学校給食みそ汁塩分濃度測定

①調査対象及び客体

アンケート調査の対象となった71小学校へ給食を提供している55施設（単独校調理室、学校給食センター、共同調理場）で調理された任意の3日分のみそ汁（集計客体一覧 給食調理施設参照）

②調査時期

令和2年10月の任意の日から12月20日まで

③調査方法

別添「学校給食みそ汁塩分濃度測定事務取扱要項（学校・給食センター版）」
「学校給食みそ汁塩分濃度測定事務取扱要項（保健所版）」参照

④調査の構成及び項目

塩分濃度、1杯あたり汁重量、材料（だしや具材の種類）とその重量

4 調査結果の入力、集計及び解析

アンケート調査の入力、集計及び解析は青森県立保健大学へ委託し実施した。なお、学校給食みそ汁塩分濃度測定は各保健所で入力したものを健康づくり推進課で集計を行い、青森県立保健大学へ提供した。

また、教育的配慮により児童の属性として性別は把握していない。

5 報告書の作成

調査の集計及び解析内容、並びに健康づくり審議会 栄養・食生活分科会の審議内容により、県健康づくり推進課が作成した。

6 集計結果の提供

集計結果は、学校別、市町村別、圏域別に関係機関へ提供した。

7 調査の倫理

調査の計画は、健康づくり審議会 栄養・食生活分科会で承認されたものであり、調査対象者の同意は、調査票の提出をもって得たものとした。

参考文献

厚生労働省：平成 22 年度国民健康・栄養調査 生活習慣調査票,

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou/dl/h22-houkoku-09.pdf>

梅澤敦子, 三輪孝士, 渋井絵里香, 他. 北海道農村地域住民における総野菜摂取量と自家製野菜摂取量との関連. 栄養学雑誌.70(5); 283-293. (2012)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/eiyogakuzashi/70/5/70_283/_pdf

吉田浩, 陳鳳明, 他.健康行動に関するアンケート. TERG Discussion Papers.385. 1-10. (2018)

[file:///C:/Users/k_miura/AppData/Local/Packages/Microsoft.MicrosoftEdge_8wekyb3d8bwe/TempState/Downloads/terg385%20\(1\).pdf](file:///C:/Users/k_miura/AppData/Local/Packages/Microsoft.MicrosoftEdge_8wekyb3d8bwe/TempState/Downloads/terg385%20(1).pdf)

Ⅱ 集計客体

調査対象校一覧

番号	保健所名	所在市町村	小学校名	給食調理施設	対象児童数 (令和2年11月現在)	回答数（人）		
						児童	調理を担当する保護者	調理を担当しない保護者
1	秋田市保健所	秋田市	保戸野小学校	保戸野小学校	29	23	23	21
2	秋田市保健所	秋田市	牛島小学校	牛島小学校	65	62	60	55
3	秋田市保健所	秋田市	川尻小学校	川尻小学校	79	70	70	63
4	秋田市保健所	秋田市	港北小学校	港北小学校	110	109	109	92
5	秋田市保健所	秋田市	高清水小学校	高清水小学校	43	42	41	34
6	秋田市保健所	秋田市	広面小学校	広面小学校	100	96	95	76
7	秋田市保健所	秋田市	勝平小学校	勝平小学校	111	93	91	79
8	秋田市保健所	秋田市	東小学校	東小学校	82	77	77	73
9	秋田市保健所	秋田市	泉小学校	泉小学校	79	72	72	66
10	秋田市保健所	秋田市	御所野小学校	御所野小学校	85	59	58	57
11	秋田市保健所	秋田市	河辺小学校	雄和学校給食センター	25	25	24	23
12	秋田市保健所	秋田市	雄和小学校	雄和学校給食センター	30	30	30	24
13	大館保健所	大館市	桂城小学校	桂城小学校	35	31	31	28
14	大館保健所	大館市	有浦小学校	大館市北学校給食センター	76	65	65	54
15	大館保健所	大館市	釈迦内小学校	大館市北学校給食センター	49	47	47	41
16	大館保健所	大館市	山瀬小学校	大館市田代学校給食センター	38	20	21	20
17	大館保健所	大館市	扇田小学校	大館市比内学校給食センター	34	31	30	30
18	大館保健所	鹿角市	花輪小学校	鹿角市学校給食センター	67	52	52	42
19	大館保健所	鹿角市	十和田小学校	鹿角市学校給食センター	56	53	55	47
20	大館保健所	鹿角市	八幡平小学校	鹿角市学校給食センター	23	23	23	19
21	大館保健所	小坂町	小坂小学校	小坂小学校	33	30	30	23
22	北秋田保健所	北秋田市	鷹巣小学校	鷹巣北部学校給食センター	65	55	50	44
23	北秋田保健所	北秋田市	鷹巣中央小学校	鷹巣南部学校給食センター	17	17	17	13
24	北秋田保健所	北秋田市	合川小学校	もりよし給食センター	36	35	35	32
25	北秋田保健所	上小阿仁村	上小阿仁小学校	上小阿仁村学校給食共同調理場	10	10	10	9
26	能代保健所	能代市	第四小学校	能代市南部共同調理場	87	86	83	77
27	能代保健所	能代市	淳城南小学校	能代市南部共同調理場	55	55	53	44
28	能代保健所	能代市	二ツ井小学校	能代市二ツ井共同調理場	42	38	35	34
29	能代保健所	藤里町	藤里小学校	藤里町学校給食センター	10	8	8	7
30	能代保健所	三種町	琴丘小学校	三種町学校給食センター	28	22	21	21
31	能代保健所	三種町	浜口小学校	三種町学校給食センター	16	13	13	11
32	能代保健所	三種町	湖北小学校	三種町学校給食センター	18	18	17	14
33	能代保健所	八峰町	八森小学校	八峰町学校給食共同調理場	24	24	24	21
34	能代保健所	八峰町	峰浜小学校	八峰町学校給食共同調理場	26	26	24	24
35	秋田中央保健所	男鹿市	船川第一小学校	男鹿市南部共同調理場	29	29	29	28
36	秋田中央保健所	男鹿市	脇本第一小学校	男鹿市東部共同調理場	20	20	20	17
37	秋田中央保健所	男鹿市	船越小学校	男鹿市若美共同調理場	47	47	45	34
38	秋田中央保健所	潟上市	大豊小学校	大豊小学校	39	39	36	30
39	秋田中央保健所	潟上市	飯田川小学校	飯田川小学校	33	33	26	26
40	秋田中央保健所	潟上市	出戸小学校	出戸小学校	48	47	42	39
41	秋田中央保健所	潟上市	追分小学校	追分小学校	67	64	49	46
42	秋田中央保健所	五城目町	五城目小学校	五城目小学校	48	47	46	39
43	秋田中央保健所	八郎潟町	八郎潟小学校	八郎潟町学校給食共同調理場	32	28	27	25
44	秋田中央保健所	井川町	井川義務教育学校	井川町学校給食共同調理場	30	28	30	27
45	秋田中央保健所	大潟村	大潟小学校	大潟村学校共同調理場	30	28	28	26

番号	保健所名	所在市町村	小学校名	給食調理施設	対象児童数 (令和2年11月現在)	回答数（人）		
						児童	調理を担当する保護者	調理を担当しない保護者
46	由利本荘保健所	由利本荘市	鶴舞小学校	由利本荘市北部学給センター	81	76	75	60
47	由利本荘保健所	由利本荘市	矢島小学校	矢島小学校	29	29	28	25
48	由利本荘保健所	由利本荘市	岩城小学校	由利本荘市北部学給センター	41	36	35	31
49	由利本荘保健所	由利本荘市	由利小学校	由利小学校	29	28	26	27
50	由利本荘保健所	由利本荘市	西目小学校	由利本荘市西目学給センター	60	56	55	49
51	由利本荘保健所	にかほ市	平沢小学校	平沢小学校	41	37	37	31
52	由利本荘保健所	にかほ市	金浦小学校	にかほ市金浦学給共同調理場	30	25	24	23
53	由利本荘保健所	にかほ市	象潟小学校	にかほ市象潟学給共同調理場	61	56	56	52
54	大仙保健所	大仙市	大曲小学校	大仙市学校給食総合センター	118	99	98	79
55	大仙保健所	大仙市	神岡小学校	大仙市西部学校給食センター	35	34	34	30
56	大仙保健所	大仙市	西仙北小学校	大仙市西部学校給食センター	45	45	45	39
57	大仙保健所	大仙市	協和小学校	大仙市西部学校給食センター	39	37	38	35
58	大仙保健所	仙北市	角館小学校	仙北市総合給食センター	79	67	70	60
59	大仙保健所	仙北市	生保内小学校	仙北市総合給食センター	35	35	33	30
60	大仙保健所	美郷町	六郷小学校	美郷町北部学校給食センター	46	45	44	40
61	大仙保健所	美郷町	仙南小学校	美郷町南学校給食センター	50	48	46	40
62	横手保健所	横手市	横手南小学校	横手学校給食センター	88	79	79	72
63	横手保健所	横手市	浅舞小学校	平鹿学校給食センター	46	41	40	37
64	横手保健所	横手市	雄物川小学校	雄物川学校給食センター	49	47	46	43
65	横手保健所	横手市	十文字第一小学校	横手学校給食センター	55	48	49	46
66	湯沢保健所	湯沢市	湯沢東小学校	湯沢市湯沢学校給食センター	67	57	53	51
67	湯沢保健所	湯沢市	湯沢西小学校	湯沢市湯沢学校給食センター	68	67	66	58
68	湯沢保健所	湯沢市	雄勝小学校	湯沢市湯沢学校給食センター	45	43	45	40
69	湯沢保健所	羽後町	西馬音内小学校	羽後町学校給食共同調理場	55	52	53	49
70	湯沢保健所	羽後町	三輪小学校	羽後町学校給食共同調理場	23	23	23	18
71	湯沢保健所	東成瀬村	東成瀬小学校	東成瀬村学校給食共同調理場	28	28	27	26
計				(55調理施設)	3,449	3,165	3,097	2,746

調査回答率 92.8%

有効回答率（児童） 91.8%

（調理を担当する保護者） 89.8%

（調査を担当しない保護者） 79.6%

Ⅲ 結果の概要

1 子供と働き盛り世代の食習慣状況調査（アンケート調査）

（１）児童の状況

自身の食習慣について当てはまるものを複数選択

保健所名	回答者数	いつも好ききらいなく 食事をしている		好ききらいがある		塩辛いものが好きでよく食べる		甘い物が好きでよく食べる		辛いものが好きでよく食べる		揚げものや肉の脂身が好きでよく食べる		カルシウム（牛乳やチーズ、小魚など）はあまり口にしない		野菜はあまり食べない		食物せんい（さつまいもやこぼろなど）はあまり食べない		食べ過ぎてしまうことが多い		少食である		間食をすることが多い		食事をとらないことがある		外食をしたり、お店で売っているおかずを食べたりすることが多い	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
	人数(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
秋田市保健所	758	351	46.3	419	55.3	178	23.5	281	37.1	136	17.9	181	23.9	84	11.1	121	16.0	75	9.9	158	20.8	124	16.4	272	35.9	61	8.0	92	12.1
大館保健所	352	150	42.6	209	59.4	71	20.2	135	38.4	65	18.5	107	30.4	48	13.6	69	19.6	44	12.5	93	26.4	64	18.2	128	36.4	31	8.8	45	12.8
北秋田保健所	117	52	44.4	67	57.3	19	16.2	45	38.5	22	18.8	27	23.1	14	12.0	15	12.8	10	8.5	26	22.2	10	8.5	44	37.6	10	8.5	9	7.7
能代保健所	290	131	45.2	159	54.8	85	29.3	118	40.7	67	23.1	81	27.9	28	9.7	46	15.9	32	11.0	66	22.8	47	16.2	103	35.5	38	13.1	52	17.9
秋田中央保健所	410	170	41.5	235	57.3	86	21.0	162	39.5	91	22.2	133	32.4	63	15.4	62	15.1	39	9.5	97	23.7	78	19.0	174	42.4	25	6.1	40	9.8
由利本荘保健所	343	166	48.4	186	54.2	54	15.7	131	38.2	52	15.2	94	27.4	45	13.1	53	15.5	39	11.4	63	18.4	53	15.5	104	30.3	21	6.1	24	7.0
大仙保健所	409	183	44.7	235	57.5	81	19.8	174	42.5	82	20.0	115	28.1	62	15.2	85	20.8	56	13.7	91	22.2	64	15.6	152	37.2	37	9.0	53	13.0
横手保健所	215	90	41.9	126	58.6	38	17.7	69	32.1	45	20.9	54	25.1	24	11.2	44	20.5	21	9.8	43	20.0	31	14.4	75	34.9	30	14.0	29	13.5
湯沢中央保健所	269	102	37.9	171	63.6	44	16.4	104	38.7	44	16.4	76	28.3	34	12.6	60	22.3	43	16.0	51	19.0	50	18.6	94	34.9	12	4.5	36	13.4
全県	3163	1395	44.1	1807	57.1	656	20.7	1219	38.5	604	19.1	868	27.4	402	12.7	555	17.5	359	11.3	688	21.8	521	16.5	1146	36.2	265	8.4	380	12.0

すべての地域で『好ききらいがある』が最も多く、全県で 57.1%であった。

次いで、全県で『いつも好ききらいなく食事をしている』が 44.1%であり、『甘い物が好きでよく食べる』、『間食をすることが多い』が多かった。

野菜をあまり食べない理由を複数選択(注)前問で野菜はあまり食べないを選択した者のみ

保健所名	回答者数	野菜を食べるのが苦手だから		野菜を食べることがそれほど大切とは思わないから		家庭で食卓に野菜の料理があまり出ないから		その他	
		人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	118	100	84.7	12	10.2	6	5.1	10	8.5
大館保健所	68	50	73.5	9	13.2	8	11.8	5	7.4
北秋田保健所	14	10	71.4	1	7.1	3	21.4	1	7.1
能代保健所	46	39	84.8	5	10.9	5	10.9	0	0.0
秋田中央保健所	59	45	76.3	5	8.5	8	13.6	6	10.2
由利本荘保健所	53	44	83.0	1	1.9	6	11.3	5	9.4
大仙保健所	82	69	84.1	5	6.1	8	9.8	6	7.3
横手保健所	44	36	81.8	2	4.5	3	6.8	4	9.1
湯沢保健所	57	48	84.2	4	7.0	6	10.5	4	7.0
全 県	541	441	81.5	44	8.1	53	9.8	41	7.6

すべての地域で『野菜を食べるのが苦手だから』が最も多かった。

また、北秋田保健所管内では、他の地域と比較して『家庭で食卓に野菜の料理があまり出ないから』が多く、21.4%であった。

いつもの給食のみそ汁の味はどのように感じるか

保健所名	回答者数	かなりうすい		少しうすい		ちょうどよい		少し濃い		かなり濃い	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	753	3	0.4	54	7.2	607	80.6	79	10.5	10	1.3
大館保健所	350	0	0.0	25	7.1	305	87.1	20	5.7	0	0.0
北秋田保健所	117	1	0.9	8	6.8	99	84.6	9	7.7	0	0.0
能代保健所	289	4	1.4	45	15.6	229	79.2	10	3.5	1	0.4
秋田中央保健所	409	6	1.5	57	13.9	310	75.8	33	8.1	3	0.7
由利本荘保健所	343	2	0.6	25	7.3	298	86.9	16	4.7	2	0.6
大仙保健所	408	3	0.7	38	9.3	334	81.9	30	7.4	3	0.7
横手保健所	215	3	1.4	18	8.4	182	84.7	11	5.1	1	0.5
湯沢保健所	270	0	0.0	21	7.8	227	84.1	20	7.4	2	0.7
全 県	3154	22	0.7	291	9.2	2591	82.2	228	7.2	22	0.7

すべての地域で給食のみそ汁の味は『ちょうどよい』が80%前後であった。

『濃い(少し、かなり)』は秋田市保健所が一番多く11.8%で、『うすい(少し、かなり)』は能代保健所が一番多く17.0%であった。

家庭のみそ汁は、給食のみそ汁の味と比較してどのように思うか

保健所名	回答者数	かなりうすい		少しうすい		同じくらい		少し濃い		かなり濃い	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	755	8	1.1	123	16.3	464	61.5	158	20.9	2	0.3
大館保健所	349	1	0.3	36	10.3	240	68.8	72	20.6	0.0	0.0
北秋田保健所	116	1	0.9	19	16.4	69	59.5	27	23.3	0.0	0.0
能代保健所	289	2	0.7	22	7.6	164	56.8	98	33.9	3	1.0
秋田中央保健所	406	6	1.5	61	15.0	243	59.9	92	22.7	4	1.0
由利本荘保健所	343	2	0.6	45	13.1	213	62.1	81	23.6	2	0.6
大仙保健所	406	1	0.3	53	13.1	254	62.6	93	22.9	5	1.2
横手保健所	215	1	0.5	24	11.2	137	63.7	50	23.3	3	1.4
湯沢保健所	270	4	1.5	34	12.6	168	62.2	63	23.3	1	0.4
全 県	3149	26	0.8	417	13.2	1952	62.0	734	23.3	20	0.6

給食と比較した家庭のみそ汁の味は、すべての地域で『同じくらい』が最も多く、その割合は60%前後だった。次いで、すべての地域で『少し濃い』が多く、『濃い(少し、かなり)』は能代保健所管内が一番多く34.9%であった。

健康と食生活に関する情報源について(複数選択)

保健所名	回答者数	担任の先生から		担任以外の 栄養教諭や 学校栄養士の 先生から		学校で配られる お便りや パンフレット などから		お家の人から		友達や、 知り合いの人 から		病院や診療所 などに行つたとき		新聞の記事や テレビ、 ラジオの番組 から		インターネットや スマートフォン などから		コマーシャルや チラシなどの 広告から	
		人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	752	280	37.2	207	27.5	393	52.3	406	54.0	45	6.0	74	9.8	263	35.0	167	22.2	178	23.7
大館保健所	348	97	27.9	118	33.9	163	46.8	181	52.0	26	7.5	32	9.2	112	32.2	59	17.0	91	26.1
北秋田保健所	117	37	31.6	42	35.9	56	47.9	62	53.0	6	5.1	14	12.0	34	29.1	18	15.4	29	24.8
能代保健所	288	102	35.4	143	49.7	166	57.6	145	50.3	23	8.0	36	12.5	104	36.1	59	20.5	82	28.5
秋田中央保健所	403	128	31.8	130	32.3	191	47.4	221	54.8	24	6.0	43	10.7	138	34.2	87	21.6	90	22.3
由利本荘保健所	343	117	34.1	88	25.7	169	49.3	198	57.7	29	8.5	35	10.2	114	33.2	77	22.4	95	27.7
大仙保健所	405	116	28.6	112	27.7	199	49.1	224	55.3	23	5.7	49	12.1	133	32.8	95	23.5	107	26.4
横手保健所	214	77	36.0	81	37.9	109	50.9	99	46.3	17	7.9	18	8.4	81	37.9	46	21.5	46	21.5
湯沢保健所	270	107	39.6	123	45.6	118	43.7	146	54.1	17	6.3	27	10.0	91	33.7	50	18.5	67	24.8
全 県	3140	1061	33.8	1044	33.2	1564	49.8	1682	53.6	210	6.7	328	10.4	1070	34.1	658	21.0	785	25.0

すべての地域で『お家の人から』、『学校で配られるお便りやパンフレットなどから』が半数程度で、能代、湯沢保健所管内では「担任以外の栄養教諭や学校栄養士の先生から」が40%を超えていた。

健康と食生活に関する信頼性の高い情報源(3 つまで選択)

保健所名	回答者数	担任の先生から		担任以外の 栄養教諭や 学校栄養士の 先生から		学校で配られる お便りや パンフレット などから		お家の人から		友達や、 知り合いの人 から		病院や診療所 などに行つたとき		新聞の記事や テレビ、 ラジオの番組 から		インターネットや スマートフォン などから		コマーシャルや チラシなどの 広告から	
		人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	697	286	41.0	366	52.5	236	33.9	359	51.5	35	5.0	241	34.6	124	17.8	64	9.2	68	9.8
大館保健所	314	115	36.6	168	53.5	125	39.8	149	47.5	9	2.9	107	34.1	66	21.0	36	11.5	23	7.3
北秋田保健所	108	36	33.3	67	62.0	37	34.3	49	45.4	2	1.9	39	36.1	18	16.7	9	8.3	9	8.3
能代保健所	271	108	39.9	177	65.3	111	41.0	125	46.1	14	5.2	72	26.6	49	18.1	32	11.8	33	12.2
秋田中央保健所	380	137	36.1	215	56.6	128	33.7	203	53.4	25	6.6	135	35.5	74	19.5	35	9.2	26	6.8
由利本荘保健所	311	129	41.5	169	54.3	109	35.0	167	53.7	13	4.2	99	31.8	49	15.8	24	7.7	26	8.4
大仙保健所	385	144	37.4	194	50.4	130	33.8	193	50.1	21	5.5	124	32.2	85	22.1	35	9.1	48	12.5
横手保健所	200	82	41.0	119	59.5	76	38.0	86	43.0	8	4.0	58	29.0	44	22.0	24	12.0	13	6.5
湯沢保健所	247	106	42.9	153	61.9	78	31.6	121	49.0	10	4.0	68	27.5	50	20.2	18	7.3	22	8.9
全 県	2913	1143	39.2	1628	55.9	1030	35.4	1452	49.8	137	4.7	943	32.4	559	19.2	277	9.5	268	9.2

すべての地域で『担任以外の栄養教諭の先生や学校栄養士の先生から』が最も多く、次いで、全県では『お家の人から』『担任の先生から』が多かった。

健康で長生きするために、食生活で大切だと思うこと(複数選択)

保健所名	回答者数	塩分を とりすぎないこと		野菜を食べること		三食(朝・昼・夕食) しっかり食べること		毎日朝食を 食べること		間食を 食べ過ぎないこと	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	756	590	78.0	639	84.5	648	85.7	554	73.3	423	56.0
大館保健所	349	260	74.5	280	80.2	294	84.2	234	67.0	168	48.1
北秋田保健所	117	91	77.8	99	84.6	99	84.6	81	69.2	53	45.3
能代保健所	289	230	79.6	245	84.8	253	87.5	210	72.7	166	57.4
秋田中央保健所	407	319	78.4	338	83.0	356	87.5	289	71.0	237	58.2
由利本荘保健所	343	240	70.0	292	85.1	294	85.7	246	71.7	157	45.8
大仙保健所	407	301	74.0	326	80.1	355	87.2	276	67.8	185	45.5
横手保健所	215	170	79.1	177	82.3	177	82.3	143	66.5	100	46.5
湯沢保健所	269	200	74.3	223	82.9	222	82.5	186	69.1	132	49.1
全県	3152	2401	76.2	2619	83.1	2698	85.6	2219	70.4	1621	51.4

すべての地域で『野菜を食べること』『三食(朝・昼・夕食)をしっかり食べること』を選択した者が80%以上であった。『間食を食べ過ぎないこと』を選択した者は半数程度にとどまり、他の項目より低い値であった。

(2) 主に調理を担当する保護者の状況

子どもの食習慣に問題があるか

保健所名	回答者数	ある		ない		わからない	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	746	294	39.4	402	53.9	50	6.7
大館保健所	353	158	44.8	172	48.7	23	6.5
北秋田保健所	111	40	36.0	65	58.6	6	5.4
能代保健所	276	133	48.2	124	44.9	19	6.9
秋田中央保健所	376	146	38.8	205	54.5	25	6.7
由利本荘保健所	336	156	46.4	157	46.7	23	6.9
大仙保健所	407	196	48.2	189	46.4	22	5.4
横手保健所	213	108	50.7	88	41.3	17	8.0
湯沢保健所	266	119	44.7	136	51.1	11	4.1
全 県	3084	1350	43.8	1538	49.9	196	6.4

子どもの食習慣について、全県では問題が『ない』がやや多かった。子どもの食習慣に問題が『ある』が一番少なかったのは北秋田保健所管内で 36.0%であり、一番多かったのは横手保健所管内で 50.7%であった。

※参考：回答形式が異なるが、平成 28 年調査では、『問題がない』は 0.1%、『わからない』は 0.0%であった。

子どもの食習慣における問題点について(複数選択) 注) 食習慣に問題が『ある』と回答した者のみ

保健所名	回答者数	好き嫌いが		塩分が多い		多甘い物が		多辛いものが		油脂が多い		がカルシウム		少野菜が		少食物繊維が		食べ過ぎ		少食		間食が多い		欠食がある		惣食・外食が多い		その他	
	人数(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
秋田市保健所	294	180	61.2	54	18.4	45	15.3	5	1.7	37	12.6	47	16.0	145	49.3	47	16.0	25	8.5	58	19.7	90	30.6	20	6.8	25	8.5	6	2.0
大館保健所	158	91	57.6	20	12.7	24	15.2	5	3.2	17	10.8	19	12.0	73	46.2	25	15.8	21	13.3	28	17.7	56	35.4	10	6.3	8	5.1	11	7.0
北秋田保健所	39	24	61.5	4	10.3	7	17.9	1	2.6	6	15.4	2	5.1	19	48.7	6	15.4	5	12.8	4	10.3	16	41.0	2	5.1	2	5.1	2	5.1
能代保健所	132	90	68.2	21	15.9	23	17.4	3	2.3	17	12.9	18	13.6	69	52.3	21	15.9	13	9.8	29	22.0	40	30.3	7	5.3	11	8.3	4	3.0
秋田中央保健所	145	90	62.1	21	14.5	22	15.2	6	4.1	17	11.7	15	10.3	62	42.8	12	8.3	16	11.0	31	21.4	50	34.5	5	3.4	9	6.2	8	5.5
由利本荘保健所	155	100	64.5	20	12.9	27	17.4	2	1.3	22	14.2	24	15.5	72	46.5	22	14.2	20	12.9	29	18.7	55	35.5	10	6.5	10	6.5	9	5.8
大仙保健所	196	120	61.2	36	18.4	46	23.5	5	2.6	30	15.3	34	17.3	97	49.5	38	19.4	25	12.8	39	19.9	61	31.1	13	6.6	17	8.7	7	3.6
横手保健所	107	63	58.9	17	15.9	20	18.7	2	1.9	20	18.7	16	15.0	48	44.9	20	18.7	18	16.8	18	16.8	29	27.1	7	6.5	6	5.6	5	4.7
湯沢保健所	119	75	63.0	24	20.2	18	15.1	0	0.0	18	15.1	19	16.0	57	47.9	23	19.3	14	11.8	21	17.6	45	37.8	8	6.7	4	3.4	4	3.4
全 県	1345	833	61.9	217	16.1	232	17.2	29	2.2	184	13.7	194	14.4	642	47.7	214	15.9	157	11.7	257	19.1	442	32.9	82	6.1	92	6.8	56	4.2

すべての地域で『好き嫌いがある』が最も多く、これは、子供の回答と同様だった。次いで、『野菜が少ない』、『間食が多い』が多かった。

※参考：回答形式が異なるが、平成 28 年度調査では約半数の保護者が『好き嫌いがある』『野菜が少ない』を子供の食習慣の問題としてあげている。

前回調査時と現在を比べて「家庭の食事」で気をつけるようになったこと

保健所名	回答者数	ある		ない	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	721	223	30.9	498	69.1
大館保健所	343	118	34.4	225	65.6
北秋田保健所	106	34	32.1	72	67.9
能代保健所	263	91	34.6	172	65.4
秋田中央保健所	367	99	27.0	268	73.0
由利本荘保健所	318	112	35.2	206	64.8
大仙保健所	386	131	33.9	255	66.1
横手保健所	202	79	39.1	123	60.9
湯沢保健所	257	90	35.0	167	65.0
全 県	2963	977	33.0	1986	67.0

前回調査を受けて気をつけるようになったことが『ある』は全県で 33.0%であり、一番少ないのは秋田中央保健所管内の 27.0%で、一番多いのは横手保健所の 39.1%であった。

健康に関する情報源(複数選択)

保健所名	対象者数	学校		県・市町村		家族		友人・知人 (近所の人)		病院・診療所		新聞・テレビ		ウェブサイト		SNS・ YouTube等の 投稿		広告	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	745	357	47.9	109	14.6	184	24.7	196	26.3	154	20.7	569	76.4	364	48.9	95	12.8	26	3.5
大館保健所	351	195	55.6	63	17.9	90	25.6	95	27.1	64	18.2	255	72.6	154	43.9	58	16.5	19	5.4
北秋田保健所	109	68	62.4	20	18.3	33	30.3	29	26.6	32	29.4	84	77.1	36	33.0	16	14.7	7	6.4
能代保健所	276	155	56.2	34	12.3	70	25.4	68	24.6	55	19.9	210	76.1	99	35.9	45	16.3	10	3.6
秋田中央保健所	373	197	52.8	46	12.3	96	25.7	103	27.6	62	16.6	273	73.2	153	41.0	67	18.0	20	5.4
由利本荘保健所	333	188	56.5	42	12.6	98	29.4	107	32.1	71	21.3	253	76.0	133	39.9	48	14.4	13	3.9
大仙保健所	408	217	53.2	59	14.5	100	24.5	99	24.3	87	21.3	315	77.2	165	40.4	70	17.2	22	5.4
横手保健所	214	132	61.7	40	18.7	52	24.3	57	26.6	48	22.4	159	74.3	92	43.0	38	17.8	13	6.1
湯沢保健所	266	151	56.8	37	13.9	72	27.1	86	32.3	45	16.9	194	72.9	106	39.8	28	10.5	10	3.8
全 県	3075	1660	54.0	450	14.6	795	25.9	840	27.3	618	20.1	2312	75.2	1302	42.3	465	15.1	140	4.6

すべての地域で『新聞・テレビ』が 70%以上であり、次いで、『学校』が多く、秋田市保健所管内を除くすべての地域で 50%以上であった。

給食だよりを参考にするか^{注)} 前問で『学校』と回答した者のみ

保健所名	回答者数	参考にする		参考にしない	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	376	340	90.4	36	9.6
大館保健所	198	183	92.4	15	7.6
北秋田保健所	68	59	86.8	9	13.2
能代保健所	165	147	89.1	18	10.9
秋田中央保健所	196	174	88.8	22	11.2
由利本荘保健所	196	182	92.9	14	7.1
大仙保健所	224	206	92.0	18	8.0
横手保健所	147	127	86.4	20	13.6
湯沢保健所	156	147	94.2	9	5.8
全 県	1726	1565	90.7	161	9.3

学校から情報を入手する場合、すべての地域で90%前後が給食だよりを『参考にする』とした。

給食だよりで参考にするものは何か^{注)} 給食だよりを『参考にする』者のみ

保健所名	回答者数	給食の内容の確認		夕食の内容を考えたか(食べるため、不足感など)		郷土食材や料理等の情報		健康に関する情報		給食のエネルギー・栄養素		その他	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	339	250	73.7	189	55.8	104	30.7	148	43.7	85	25.1	9	2.7
大館保健所	183	132	72.1	96	52.5	78	42.6	67	36.6	34	18.6	7	3.8
北秋田保健所	59	43	72.9	34	57.6	17	28.8	28	47.5	13	22.0	1	1.7
能代保健所	145	99	68.3	75	51.7	41	28.3	66	45.5	28	19.3	4	2.8
秋田中央保健所	170	116	68.2	106	62.4	42	24.7	68	40.0	52	30.6	4	2.4
由利本荘保健所	180	122	67.8	100	55.6	52	28.9	84	46.7	37	20.6	4	2.2
大仙保健所	206	139	67.5	107	51.9	69	33.5	103	50.0	54	26.2	5	2.4
横手保健所	126	90	71.4	81	64.3	41	32.5	42	33.3	25	19.8	4	3.2
湯沢保健所	144	111	77.1	75	52.1	29	20.1	59	41.0	25	17.4	6	4.2
全 県	1552	1102	71.0	863	55.6	473	30.5	665	42.8	353	22.7	44	2.8

全県で『給食の内容の確認』が最も多く 71.0%であり、次いで、『夕食の内容を考えるため』、『健康に関する情報』が多かった。大館保健所管内では『食材や郷土料理の情報』が2番目に多く、他の地域と比較しても『食材や郷土料理の情報』が多かった。

最も信頼する情報源

保健所名	回答者数	学校		県・市町村		家族		友人・知人 (近所の人)		病院・診療所		新聞・テレビ		ウェブサイト		SNS・ YouTube等の 投稿		広告	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	636	134	21.1	69	10.9	28	4.4	17	2.7	213	33.5	144	22.6	28	4.4	3	0.5	0	0.0
大館保健所	299	68	22.7	38	12.7	10	3.3	6	2.0	79	26.4	82	27.4	12	4.0	4	1.3	0	0.0
北秋田保健所	88	18	20.5	11	12.5	3	3.4	1	1.1	29	33.0	22	25.0	4	4.6	0	0.0	0	0.0
能代保健所	240	59	24.6	23	9.6	15	6.3	4	1.7	62	25.8	62	25.8	11	4.6	4	1.7	0	0.0
秋田中央保健所	312	79	25.3	30	9.6	16	5.1	2	0.6	75	24.0	95	30.5	10	3.2	4	1.3	1	0.3
由利本荘保健所	263	68	25.9	17	6.5	11	4.2	4	1.5	77	29.3	70	26.6	13	4.9	3	1.1	0	0.0
大仙保健所	343	86	25.1	28	8.2	11	3.2	10	2.9	105	30.6	91	26.5	6	1.8	5	1.5	1	0.3
横手保健所	185	56	30.3	25	13.5	3	1.6	4	2.2	50	27.0	36	19.5	9	4.9	2	1.1	0	0.0
湯沢保健所	222	62	27.9	29	13.1	7	3.2	3	1.4	53	23.9	58	26.1	10	4.5	0	0.0	0	0.0
全 県	2588	630	24.3	270	10.4	104	4.0	51	2.0	743	28.7	660	25.5	103	4.0	25	1.0	2	0.1

全県で『病院・診療所』『新聞・テレビ』『学校』が、25%前後であり、『県・市町村』は10%程度であった。

『秋田健』の知名度と利用状況

★『秋田健』:秋田県健康づくり県民運動推進協議会が健康に関する情報を提供しているWebサイト

保健所名	回答者数	知らない		知っているが 見たことがない		知っていて 見たことがある		定期的に見ている ・活用している	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	746	689	92.4	43	5.8	14	1.9	0	0.0
大館保健所	353	310	87.8	33	9.4	8	2.3	2	0.6
北秋田保健所	111	97	87.4	12	10.8	2	1.8	0	0.0
能代保健所	278	248	89.2	20	7.2	10	3.6	0	0.0
秋田中央保健所	374	347	92.8	20	5.4	7	1.9	0	0.0
由利本荘保健所	334	307	91.9	20	6.0	7	2.1	0	0.0
大仙保健所	408	381	93.4	21	5.2	4	1.0	2	0.5
横手保健所	214	187	87.4	19	8.9	7	3.3	1	0.5
湯沢保健所	266	240	90.2	21	7.9	4	1.5	1	0.4
全 県	3084	2806	91.0	209	6.8	63	2.0	6	0.2

全県で秋田健を『知らない』が91.0%であった。

1 日の野菜摂取量について

* 目標 350g (第 2 期健康秋田 21 計画) の目安 5 皿

保健所名	回答者数	2皿以下		3皿		4皿		5皿以上	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	744	261	35.1	249	33.5	91	12.2	143	19.2
大館保健所	351	131	37.3	105	29.9	50	14.3	65	18.5
北秋田保健所	111	38	34.2	26	23.4	19	17.1	28	25.2
能代保健所	278	130	46.8	77	27.7	30	10.8	41	14.8
秋田中央保健所	376	138	36.7	113	30.1	46	12.2	79	21.0
由利本荘保健所	334	130	38.9	107	32.0	36	10.8	61	18.3
大仙保健所	403	156	38.7	115	28.5	56	13.9	76	18.9
横手保健所	213	87	40.9	63	29.6	25	11.7	38	17.8
湯沢保健所	267	95	35.6	80	30.0	34	12.7	58	21.7
全 県	3077	1166	37.9	935	30.4	387	12.6	589	19.1

全県では、『5 皿以上』が 19.1%であり、北秋田、秋田中央、湯沢保健所管内では『5 皿以上』が 20%を超していた。また、全県では『2 皿以下』が 37.9%であった。

野菜摂取の妨げとなっていること(複数選択) 注) 前問で『5 皿未満』の者のみ

保健所名	回答者数	野菜が苦手		野菜を食べることがそれほど重要とは思わない		子供やほかの家族が食べてくれないため食卓に出しにくい		調理が面倒		調理方法がわからない		価格が高い		その他	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	577	41	7.1	17	2.9	203	35.2	157	27.2	47	8.1	206	35.7	112	19.4
大館保健所	271	15	5.5	7	2.6	93	34.3	55	20.3	18	6.6	102	37.6	57	21.0
北秋田保健所	82	1	1.2	3	3.7	25	30.5	18	22.0	7	8.5	32	39.0	17	20.7
能代保健所	228	19	8.3	8	3.5	76	33.3	53	23.2	15	6.6	87	38.2	43	18.9
秋田中央保健所	289	23	8.0	8	2.8	103	35.6	65	22.5	23	8.0	102	35.3	61	21.1
由利本荘保健所	262	18	6.9	6	2.3	88	33.6	53	20.2	12	4.6	114	43.5	47	17.9
大仙保健所	314	17	5.4	4	1.3	118	37.6	55	17.5	26	8.3	133	42.4	66	21.0
横手保健所	173	13	7.5	4	2.3	65	37.6	39	22.5	14	8.1	71	41.0	26	15.0
湯沢保健所	197	14	7.1	3	1.5	71	36.0	42	21.3	24	12.2	88	44.7	27	13.7
全 県	2393	161	6.7	60	2.5	842	35.2	537	22.4	186	7.8	935	39.1	456	19.1

全県、すべての地域で『価格が高い』が 40%近く、次いで『子供や他の家族が食べてくれないため、出しにくい』、『調理が面倒』が多かった。

野菜の自給状況

保健所名	回答者数	ない		ほとんどない		季節や物により できることがある	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	746	321	43.0	173	23.2	252	33.8
大館保健所	350	108	30.9	63	18.0	179	51.1
北秋田保健所	110	26	23.6	22	20.0	62	56.4
能代保健所	276	89	32.3	56	20.3	131	47.5
秋田中央保健所	378	112	29.6	69	18.3	197	52.1
由利本荘保健所	335	105	31.3	58	17.3	172	51.3
大仙保健所	402	118	29.4	74	18.4	210	52.2
横手保健所	214	45	21.0	43	20.1	126	58.9
湯沢保健所	267	74	27.7	32	12.0	161	60.3
全 県	3078	998	32.4	590	19.2	1490	48.4

『季節や物によりできることがある』は、全県では 48.4%で、一番多い湯沢保健所管内では 60.3%であったが、一番少ない秋田市保健所管内は 33.8%であった。

野菜摂取を意識した食事の準備をするか

保健所名	回答者数	しない		ほとんど意識 しない		時々意識 している		いつも意識 している	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	747	32	4.3	136	18.2	340	45.5	239	32.0
大館保健所	348	23	6.6	62	17.8	161	46.3	102	29.3
北秋田保健所	112	4	3.6	15	13.4	53	47.3	40	35.7
能代保健所	278	21	7.6	44	15.8	142	51.1	71	25.5
秋田中央保健所	378	21	5.6	71	18.8	173	45.8	113	29.9
由利本荘保健所	335	20	6.0	47	14.0	166	49.6	102	30.5
大仙保健所	402	18	4.5	54	13.4	207	51.5	123	30.6
横手保健所	214	11	5.1	29	13.6	99	46.3	75	35.1
湯沢保健所	266	15	5.6	42	15.8	116	43.6	93	35.0
全 県	3080	165	5.4	500	16.2	1457	47.3	958	31.1

すべての地域で、食事の準備の際に野菜摂取を『時々意識している』、『いつも意識している』を合わせると 70%超であった。

1 週間の平均的な食品の購入頻度

保健所名	回答者数	1回未満		1～2回		3～4回		5～6回		毎日	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	747	6	0.8	205	27.4	346	46.3	105	14.1	85	11.4
大館保健所	350	4	1.1	113	32.3	152	43.4	52	14.9	29	8.3
北秋田保健所	112	4	3.6	37	33.0	51	45.5	11	9.8	9	8.0
能代保健所	278	2	0.7	91	32.7	121	43.5	33	11.9	31	11.2
秋田中央保健所	377	3	0.8	98	26.0	178	47.2	69	18.3	29	7.7
由利本荘保健所	335	3	0.9	104	31.0	155	46.3	38	11.3	35	10.5
大仙保健所	405	4	1.0	122	30.1	183	45.2	59	14.6	37	9.1
横手保健所	214	1	0.5	58	27.1	116	54.2	19	8.9	20	9.4
湯沢保健所	267	1	0.4	90	33.7	122	45.7	34	12.7	20	7.5
全 県	3085	28	0.9	918	29.8	1424	46.2	420	13.6	295	9.6

すべての地域で『3～4回』が最も多く、次いで『1～2回』であった。

食品購入で困難に感じていること(複数選択)

保健所名	回答者数	店が遠い		移動手段が乏しい		価格		品質		何を買ったら よいか わからない		欲しいものが 売っていない		時間がない、 合わない		困難に感じることは ない		その他	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	739	22	3.0	13	1.8	292	39.5	89	12.0	78	10.6	28	3.8	96	13.0	294	39.8	28	3.8
大館保健所	346	23	6.6	3	0.9	143	41.3	44	12.7	42	12.1	27	7.8	38	11.0	121	35.0	24	6.9
北秋田保健所	112	19	17.0	2	1.8	47	42.0	8	7.1	9	8.0	6	5.4	21	18.8	35	31.3	4	3.6
能代保健所	275	39	14.2	5	1.8	120	43.6	36	13.1	45	16.4	25	9.1	38	13.8	82	29.8	8	2.9
秋田中央保健所	373	33	8.8	4	1.1	152	40.8	44	11.8	48	12.9	36	9.7	50	13.4	125	33.5	21	5.6
由利本荘保健所	330	40	12.1	4	1.2	146	44.2	39	11.8	31	9.4	47	14.2	40	12.1	99	30.0	18	5.5
大仙保健所	396	39	9.8	6	1.5	174	43.9	53	13.4	46	11.6	38	9.6	55	13.9	137	34.6	13	3.3
横手保健所	212	12	5.7	4	1.9	97	45.8	33	15.6	31	14.6	17	8.0	27	12.7	74	34.9	8	3.8
湯沢保健所	262	27	10.3	2	0.8	124	47.3	30	11.5	38	14.5	27	10.3	45	17.2	73	27.9	10	3.8
全 県	3045	254	8.3	43	1.4	1295	42.5	376	12.3	368	12.1	251	8.2	410	13.5	1040	34.2	134	4.4

全県で『価格』は 42.5%であり、秋田市保健所管内を除く全ての地域で最も多かった。
秋田市保健所管内では『価格』と『困難に感じることはない』がほぼ同数であった。

みそ汁の塩分濃度測定について

保健所名	回答者数	したことがない		したことがある		定期的にしている		測定したことはないが 機会があれば測定してみたい		測定したいと思わない	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	742	617	83.2	18	2.4	3	0.4	96	12.9	8	1.1
大館保健所	347	284	81.8	16	4.6	1	0.3	43	12.4	3	0.9
北秋田保健所	112	97	86.6	6	5.4	1	0.9	8	7.1	0	0.0
能代保健所	278	234	84.2	3	1.1	1	0.4	37	13.3	3	1.1
秋田中央保健所	375	301	80.3	40	10.7	1	0.3	28	7.5	5	1.3
由利本荘保健所	330	275	83.3	16	4.9	0	0.0	33	10.0	6	1.8
大仙保健所	402	323	80.4	17	4.2	0	0.0	58	14.4	4	1.0
横手保健所	213	178	83.6	11	5.2	3	1.4	20	9.4	1	0.5
湯沢保健所	266	196	73.7	33	12.4	3	1.1	32	12.0	2	0.8
全 県	3065	2505	81.7	160	5.2	13	0.4	355	11.6	32	1.0

全県では『したことがない』は 81.7%であり、『測定したことはないが、機会があれば測定してみたい』は 11.6%であった。『したことがある』は、湯沢、秋田中央保健所管内は 10%以上であり、能代、秋田市保健所管内は 1～2%程度であった。

天然だしの取り方の知識とその実行について

保健所名	回答者数	知らない		知らないが 実行してみたい		知っているが 実行していない		実行している	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	746	67	9.0	39	5.2	521	69.8	119	16.0
大館保健所	351	39	11.1	20	5.7	246	70.1	46	13.1
北秋田保健所	112	8	7.1	6	5.4	74	66.1	24	21.4
能代保健所	276	42	15.2	14	5.1	177	64.1	43	15.6
秋田中央保健所	377	38	10.1	9	2.4	262	69.5	68	18.0
由利本荘保健所	332	35	10.5	21	6.3	209	63.0	67	20.2
大仙保健所	405	56	13.8	24	5.9	257	63.5	68	16.8
横手保健所	213	28	13.2	8	3.8	152	71.4	25	11.7
湯沢保健所	264	25	9.5	9	3.4	187	70.8	43	16.3
全 県	3076	338	11.0	150	4.9	2085	67.8	503	16.4

すべての地域で『知っているが実行していない』が最も多く、全県で 67.8%だった。北秋田、由利本荘保健所管内では『実行している』が 20%以上であった。

平日の平均的な夕食の調理時間について

保健所名	回答者数	20分未満		20～40分		40～60分		60分以上	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	746	34	4.6	355	47.6	290	38.9	67	9.0
大館保健所	351	22	6.3	171	48.7	119	33.9	39	11.1
北秋田保健所	112	4	3.6	61	54.5	41	36.6	6	5.4
能代保健所	277	12	4.3	133	48.0	100	36.1	32	11.6
秋田中央保健所	378	8	2.1	167	44.2	169	44.7	34	9.0
由利本荘保健所	334	17	5.1	154	46.1	115	34.4	48	14.4
大仙保健所	399	26	6.5	190	47.6	158	39.6	25	6.3
横手保健所	214	12	5.6	106	49.5	83	38.8	13	6.1
湯沢保健所	265	15	5.7	119	44.9	110	41.5	21	7.9
全 県	3076	150	4.9	1456	47.3	1185	38.5	285	9.3

すべての地域で『20～40分』が最も多く全県では47.3%で、次いで『40～60分』だった。由利本荘保健所管内では、『60分以上』が14.4%、大館、能代保健所管内では10%を超していた。

調理についてどう思うか

保健所名	回答者数	嫌い		どちらかといえば嫌い		どちらかといえば好き		好き	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	744	48	6.5	266	35.8	342	46.0	88	11.8
大館保健所	350	16	4.6	124	35.4	173	49.4	37	10.6
北秋田保健所	112	3	2.7	31	27.7	61	54.5	17	15.2
能代保健所	278	12	4.3	115	41.4	121	43.5	30	10.8
秋田中央保健所	376	18	4.8	144	38.3	172	45.7	42	11.2
由利本荘保健所	330	17	5.2	104	31.5	165	50.0	44	13.3
大仙保健所	404	15	3.7	143	35.4	186	46.0	60	14.9
横手保健所	213	9	4.2	79	37.1	98	46.0	27	12.7
湯沢保健所	265	10	3.8	95	35.9	122	46.0	38	14.3
全 県	3072	148	4.8	1101	35.8	1440	46.9	383	12.5

『好き』と『どちらかといえば好き』を合わせて、全県では59.4%であり、最多が北秋田保健所管内の69.7%、最少が能代保健所管内の54.3%であった。

(3) 主に調理を担当しない保護者の状況

健康に関する情報源(複数選択)

保健所名	回答者数	学校		県・市町村		家族		友人・知人 (近所の人)		病院・診療所		新聞・テレビ		ウェブサイト		SNS・ YouTube等の 投稿		広告	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	660	80	12.1	79	12.0	210	31.8	105	15.9	128	19.4	449	68.0	274	41.5	85	12.9	28	4.2
大館保健所	304	52	17.1	47	15.5	104	34.2	42	13.8	65	21.4	197	64.8	106	34.9	39	12.8	10	3.3
北秋田保健所	96	18	18.8	11	11.5	25	26.0	9	9.4	28	29.2	70	72.9	37	38.5	11	11.5	4	4.2
能代保健所	249	40	16.1	27	10.8	68	27.3	31	12.4	54	21.7	173	69.5	83	33.3	28	11.2	3	1.2
秋田中央保健所	333	48	14.4	33	9.9	125	37.5	55	16.5	67	20.1	229	68.8	121	36.3	48	14.4	13	3.9
由利本荘保健所	294	54	18.4	36	12.2	94	32.0	46	15.6	54	18.4	201	68.4	122	41.5	28	9.5	21	7.1
大仙保健所	351	68	19.4	50	14.2	123	35.0	51	14.5	85	24.2	255	72.6	132	37.6	53	15.1	12	3.4
横手保健所	197	42	21.3	29	14.7	64	32.5	35	17.8	57	28.9	132	67.0	75	38.1	33	16.8	13	6.6
湯沢保健所	241	42	17.4	32	13.3	70	29.0	44	18.3	62	25.7	167	69.3	88	36.5	25	10.4	8	3.3
全 県	2725	444	16.3	344	12.6	883	32.4	418	15.3	600	22.0	1873	68.7	1038	38.1	350	12.8	112	4.1

すべての地域で『新聞・テレビ』が多く、全県で68.7%だった。

給食だよりを参考にするか^注 前問で『学校』と回答した者のみ

保健所名	回答者数	参考にする		参考にしない	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	95	60	63.2	35	36.8
大館保健所	54	43	79.6	11	20.4
北秋田保健所	19	9	47.4	10	52.6
能代保健所	58	30	51.7	28	48.3
秋田中央保健所	48	32	66.7	16	33.3
由利本荘保健所	58	36	62.1	22	37.9
大仙保健所	75	54	72.0	21	28.0
横手保健所	56	32	57.1	24	42.9
湯沢保健所	56	29	51.8	27	48.2
全 県	519	325	62.6	194	37.4

学校から情報を入手する人において、ほぼすべての地域で半数以上が給食だよりを参考にしていた。大館、大仙保健所管内では『参考にする』が70%を超え、高かった。

給食だよりの参考にするもの注) 前問で『参考にする』と回答した者のみ

保健所名	回答者数	給食の内容確認		食材・郷土料理等の情報		健康に関係のある情報		給食のエネルギー・栄養素		その他	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	59	44	74.6	15	25.4	22	37.3	16	27.1	0	0.0
大館保健所	40	30	75.0	11	27.5	24	60.0	16	40.0	0	0.0
北秋田保健所	9	7	77.8	3	33.3	4	44.4	3	33.3	0	0.0
能代保健所	29	19	65.5	10	34.5	8	27.6	6	20.7	0	0.0
秋田中央保健所	30	26	86.7	6	20.0	7	23.3	9	30.0	0	0.0
由利本荘保健所	35	25	71.4	11	31.4	15	42.9	5	14.3	0	0.0
大仙保健所	51	36	70.6	14	27.5	21	41.2	9	17.6	0	0.0
横手保健所	30	25	83.3	9	30.0	14	46.7	9	30.0	0	0.0
湯沢保健所	27	18	66.7	8	29.6	13	48.1	2	7.4	1	3.7
全 県	310	230	74.2	87	28.1	128	41.3	75	24.2	1	0.3

すべての地域で『給食の内容確認』が多く、全県では 74.2%であった。

最も信頼できる情報源

保健所名	回答者数	学校			県・市町村			家族		友人・知人 (近所の人)		病院・診療所		新聞・テレビ		ウェブサイト		SNS・ YouTube等の 投稿		広告	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	577	49	8.5	89	15.4	60	10.4	2	0.4	176	30.5	167	28.9	28	4.9	5	0.9	1	0.2		
大館保健所	251	27	10.8	42	16.7	22	8.8	4	1.6	77	30.7	68	27.1	9	3.6	2	0.8	0	0.0		
北秋田保健所	88	6	6.8	8	9.1	2	2.3	0	0.0	42	47.7	24	27.3	4	4.6	2	2.3	0	0.0		
能代保健所	221	24	10.9	30	13.6	20	9.1	4	1.8	60	27.2	68	30.8	10	4.5	4	1.8	1	0.5		
秋田中央保健所	293	31	10.6	40	13.7	31	10.6	5	1.7	79	27.0	87	29.7	16	5.5	4	1.4	0	0.0		
由利本荘保健所	249	26	10.4	25	10.0	23	9.2	2	0.8	80	32.1	75	30.1	15	6.0	3	1.2	0	0.0		
大仙保健所	303	25	8.3	34	11.2	26	8.6	4	1.3	111	36.6	89	29.4	10	3.3	4	1.3	0	0.0		
横手保健所	172	18	10.5	23	13.4	7	4.1	3	1.7	61	35.5	46	26.7	12	7.0	2	1.2	0	0.0		
湯沢保健所	215	18	8.4	23	10.7	18	8.4	3	1.4	74	34.4	63	29.3	15	7.0	1	0.5	0	0.0		
全 県	2369	224	9.5	314	13.3	209	8.8	27	1.1	760	32.1	687	29.0	119	5.0	27	1.1	2	0.1		

信頼できる情報源として『病院・診療所』『新聞・テレビ』が多く、どちらも全県では 30%程度であった。北秋田保健所管内では『病院・診療所』が 47.7%であった。

『秋田健』の認知度と利用状況

＊『秋田健』：秋田県健康づくり県民運動推進協議会が健康に関する情報を提供しているWebサイト

保健所名	回答者数	知らない		知っているが 見たことが ない		知っていて 見たことが ある		定期的に 見ている・ 活用している	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	660	617	93.5	31	4.7	11	1.7	1	0.2
大館保健所	302	276	91.4	18	6.0	8	2.7	0	0.0
北秋田保健所	97	86	88.7	6	6.2	4	4.1	1	1.0
能代保健所	253	230	90.9	17	6.7	6	2.4	0	0.0
秋田中央保健所	336	315	93.8	17	5.1	4	1.2	0	0.0
由利本荘保健所	296	270	91.2	23	7.8	3	1.0	0	0.0
大仙保健所	353	330	93.5	21	6.0	2	0.6	0	0.0
横手保健所	196	176	89.8	13	6.6	7	3.6	0	0.0
湯沢保健所	242	227	93.8	14	5.8	1	0.4	0	0.0
全 県	2735	2527	92.4	160	5.9	46	1.7	2	0.1

全県で秋田健を『知らない』は 92.4%であった。

1日の野菜摂取量

＊目標 350g(第2期健康秋田21計画)の目安 5皿

保健所名	回答者数	2皿以下		3皿		4皿		5皿以上	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	661	334	50.5	175	26.5	63	9.5	89	13.5
大館保健所	303	165	54.5	79	26.1	23	7.6	36	11.9
北秋田保健所	98	48	49.0	25	25.5	12	12.2	13	13.3
能代保健所	252	142	56.4	53	21.0	21	8.3	36	14.3
秋田中央保健所	335	161	48.1	75	22.4	39	11.6	60	17.9
由利本荘保健所	298	161	54.0	70	23.5	29	9.7	38	12.8
大仙保健所	353	173	49.0	88	24.9	33	9.4	59	16.7
横手保健所	198	96	48.5	50	25.3	18	9.1	34	17.2
湯沢保健所	242	113	46.7	71	29.3	33	13.6	25	10.3
全 県	2740	1393	50.8	686	25.0	271	9.9	390	14.2

すべての地域で1日の野菜の摂取量が5皿(350g)未満である者が80%以上であり、全県では50.8%が2皿以下であった。

野菜摂取の妨げとなっていること(複数選択) 注) 前問で 5 皿未満と回答した者のみ

保健所名	回答者数	野菜が苦手		野菜を食べることがそれほど重要とは思わない		家庭で食卓に野菜料理が出ない		外食・中食で野菜料理を選び(追加し)にくい		価格が高い		その他	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	549	72	13.1	75	13.7	129	23.5	181	33.0	108	19.7	79	14.4
大館保健所	258	25	9.7	53	20.5	70	27.1	50	19.4	51	19.8	44	17.1
北秋田保健所	83	1	1.2	18	21.7	27	32.5	22	26.5	12	14.5	17	20.5
能代保健所	205	24	11.7	45	22.0	56	27.3	44	21.5	31	15.1	25	12.2
秋田中央保健所	259	37	14.3	38	14.7	61	23.6	55	21.2	55	21.2	47	18.1
由利本荘保健所	249	19	7.6	51	20.5	59	23.7	65	26.1	40	16.1	41	16.5
大仙保健所	274	41	15.0	41	15.0	71	25.9	69	25.2	59	21.5	42	15.3
横手保健所	159	15	9.4	31	19.5	45	28.3	43	27.0	34	21.4	17	10.7
湯沢保健所	211	24	11.4	42	19.9	55	26.1	59	28.0	38	18.0	29	13.7
全 県	2247	258	11.5	394	17.5	573	25.5	588	26.2	428	19.0	341	15.2

全県では、『外食・中食で野菜料理を選び(追加し)にくい』と『家庭で食卓に野菜料理がでない』が多く 25%以上だった。秋田市、由利本荘、湯沢保健所管内は『外食・中食で野菜料理を選び(追加し)にくい』が最も多く、他の地域では、『家庭で食卓に野菜料理が出ない』が最も多かった。

食生活を変えるきっかけ(複数選択)

保健所名	回答者数	健康診断の結果		体重計・血圧計などの数値上昇		医師の助言		新聞・テレビからの情報		ウェブサイトからの情報		SNS・YouTube等の投稿		家族の助言		体調トラブルの自覚		家庭環境の変化		職場環境の変化		経済状況の変化		その他	
	人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	658	494	75.1	354	53.8	209	31.8	84	12.8	32	4.9	21	3.2	134	20.4	254	38.6	28	4.3	22	3.3	17	2.6	12	1.8
大館保健所	304	229	75.3	171	56.3	103	33.9	38	12.5	9	3.0	5	1.6	67	22.0	111	36.5	13	4.3	8	2.6	10	3.3	8	2.6
北秋田保健所	98	73	74.5	57	58.2	35	35.7	10	10.2	6	6.1	5	5.1	18	18.4	38	38.8	0	0.0	0	0.0	1	1.0	4	4.1
能代保健所	253	181	71.5	135	53.4	75	29.6	23	9.1	9	3.6	4	1.6	40	15.8	91	36.0	3	1.2	3	1.2	8	3.2	10	4.0
秋田中央保健所	334	258	77.2	191	57.2	110	32.9	26	7.8	16	4.8	10	3.0	70	21.0	135	40.4	11	3.3	11	3.3	6	1.8	5	1.5
由利本荘保健所	293	217	74.1	155	52.9	96	32.8	30	10.2	13	4.4	8	2.7	59	20.1	117	39.9	10	3.4	8	2.7	7	2.4	7	2.4
大仙保健所	351	258	73.5	180	51.3	135	38.5	36	10.3	10	2.8	12	3.4	69	19.7	131	37.3	15	4.3	5	1.4	8	2.3	3	0.9
横手保健所	196	153	78.1	105	53.6	63	32.1	25	12.8	14	7.1	9	4.6	41	20.9	78	39.8	4	2.0	6	3.1	8	4.1	1	0.5
湯沢保健所	240	166	69.2	126	52.5	84	35.0	27	11.3	17	7.1	6	2.5	48	20.0	92	38.3	11	4.6	14	5.8	13	5.4	4	1.7
全 県	2727	2029	74.4	1474	54.1	910	33.4	299	11.0	126	4.6	80	2.9	546	20.0	1047	38.4	95	3.5	77	2.8	78	2.9	54	2.0

全県、各保健所管内において、『健康診断の結果』が最も多く、全県では 74.4%であった。

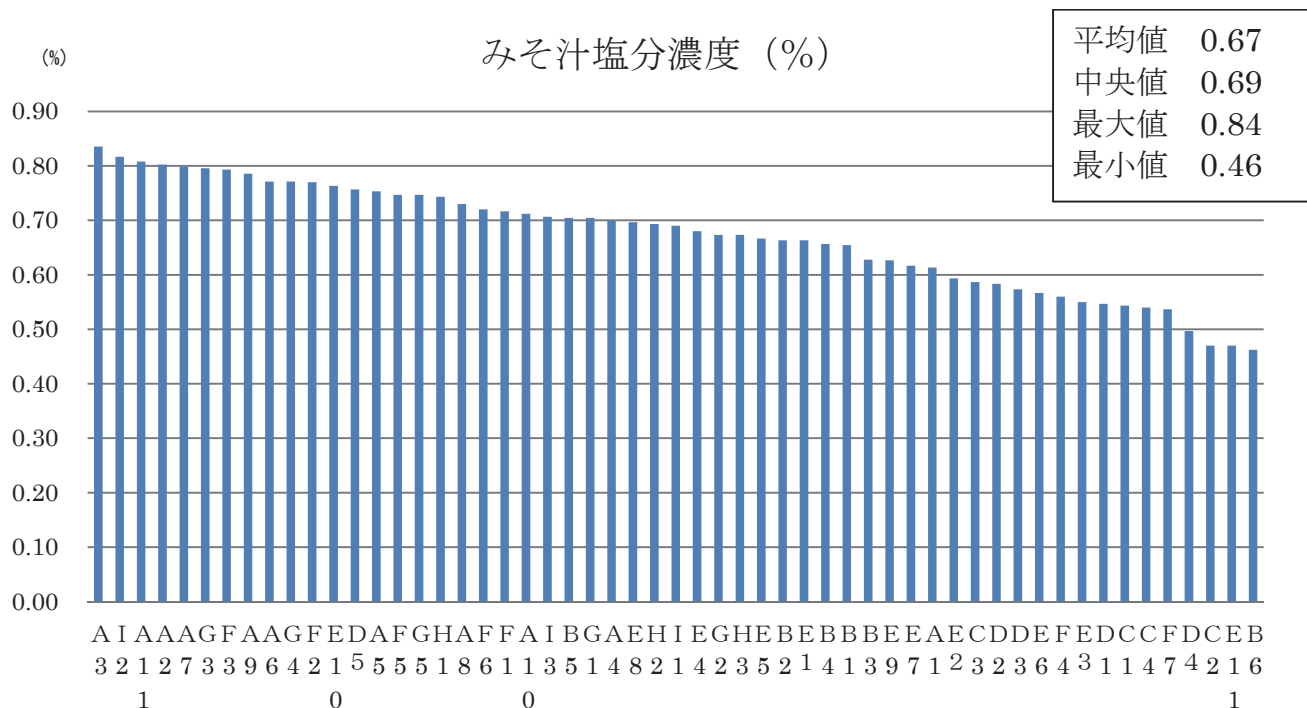
食生活改善の取組を持続させるもの(複数選択)

保健所名	回答者数	健康診断結果や、 体重計・血圧計の数値で効果が みえること			体調がよいこと		周囲から ほめられること		一緒に取り組む 仲間がいること		ポイントが たまるなど 金銭的な 利益があること		将来の 発病リスクの 改善や 予測寿命の 改善がわかること		生涯医療費の 予測値の改善が わかること		賞金や昇進の 上での評価		その他		何もなくとも 持続できる	
		人数(人)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)	人数(人)	(%)
秋田市保健所	656	506	77.1		402	61.3	99	15.1	72	11.0	46	7.0	165	25.2	31	4.7	21	3.2	14	2.1	39	5.9
大館保健所	301	233	77.4		184	61.1	28	9.3	30	10.0	13	4.3	72	23.9	16	5.3	6	2.0	9	3.0	15	5.0
北秋田保健所	97	71	73.2		61	62.9	18	18.6	12	12.4	12	12.4	23	23.7	5	5.2	6	6.2	3	3.1	4	4.1
能代保健所	250	186	74.4		148	59.2	19	7.6	20	8.0	18	7.2	44	17.6	11	4.4	7	2.8	7	2.8	15	6.0
秋田中央保健所	334	267	79.9		202	60.5	38	11.4	34	10.2	16	4.8	77	23.1	16	4.8	6	1.8	7	2.1	15	4.5
由利本荘保健所	295	216	73.2		184	62.4	39	13.2	32	10.8	18	6.1	64	21.7	7	2.4	9	3.1	12	4.1	15	5.1
大仙保健所	349	266	76.2		228	65.3	47	13.5	35	10.0	25	7.2	81	23.2	12	3.4	12	3.4	5	1.4	17	4.9
横手保健所	196	148	75.5		121	61.7	29	14.8	19	9.7	16	8.2	58	29.6	6	3.1	5	2.6	2	1.0	10	5.1
湯沢保健所	239	176	73.6		144	60.3	37	15.5	28	11.7	18	7.5	62	25.9	11	4.6	14	5.9	6	2.5	10	4.2
全 県	2717	2069	76.2		1674	61.6	354	13.0	282	10.4	182	6.7	646	23.8	115	4.2	86	3.2	65	2.4	140	5.2

全県、各保健所管内において『健康診断結果や、体重計・血圧計の数値で効果が見えること』が最も多く、70%代であった。

2 学校給食みそ汁塩分濃度測定

塩分濃度



学校間の差異が大きく、保健所管内別に集計することを控えた。

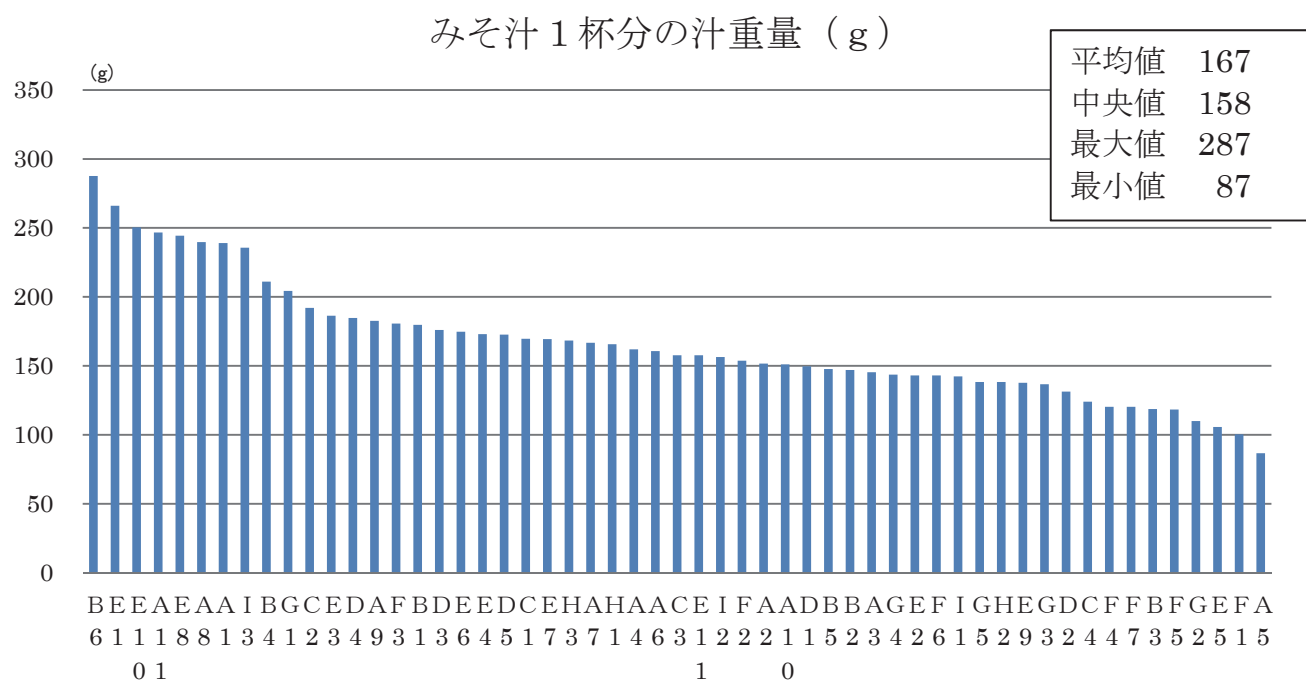
【塩分濃度測定値が高いみそ汁のだしとみそ】

給食施設	塩分濃度(%)				だしとみその1人当たりの使用量等		
	確定値①	確定値②	確定値③	平均	検体①	検体②	検体③
1	0.81	0.88	0.81	0.84	焼きいりこだしパック3.6g、みそ13.2g	焼きいりこだしパック3.6g、みそ13.2g	焼きいりこだしパック3.6g、みそ13.2g
2	0.80	0.78	0.87	0.82	焼きいりこだしパック3.2g、みそ10.8g	焼きいりこだしパック3.2g、みそ10.8g	焼きいりこだしパック3.2g、みそ10.8g
3	0.69	0.85	0.88	0.81	焼きいりこだしパック3g、みそ11g	焼きいりこだしパック3g、みそ11g	焼きいりこだしパック3g、みそ11g
4	0.77	0.74	0.90	0.80	焼きいりこだしパック3g、みそ11g	焼きいりこだしパック3g、みそ11g	焼きいりこだしパック3g、みそ11g
5	0.78	0.82	0.80	0.80	焼きいりこだしパック3g、みそ11g	焼きいりこだしパック3g、みそ11g	焼きいりこだしパック3g、みそ11g

【塩分濃度測定値が低いみそ汁のだしとみそ】

給食施設	塩分濃度(%)				だしとみその1人当たりの使用量等		
	確定値①	確定値②	確定値③	平均	検体①	検体②	検体③
1	0.47	0.43	0.49	0.46	焼きいりこだしパック3g、淡色辛みそ8g	焼きいりこだしパック5g、淡色辛みそ8g	焼きいりこだしパック3g、淡色辛みそ8g
2	0.46	0.45	0.50	0.47	だし昆布1g、かつおだしパック2g、こしみそ6g	だし昆布2g、かつおだしパック2g、こしみそ6g	だし昆布2.1g、かつおだしパック2.1g、こしみそ6g
3	0.48	0.47	0.46	0.47	煮干だし3、かつお昆布だし0.2、米みそ(甘みそ)9g	煮干だし3、米みそ(甘みそ)9g	煮干だし3、米みそ(甘みそ)9g
4	0.42	0.57	0.50	0.50	煮干しだしパック2g、みそ10g	煮干しだしパック2g、和風だし0.1g、こしみそ9.2g	煮干しだしパック2g、和風だし0.1g、こしみそ10g
5	0.54	0.49	0.58	0.54	煮干し1.4g、昆布0.7g、みそ9g	煮干し1.4g、昆布0.7g、みそ9g	煮干し1.4g、昆布0.7g、みそ9g

1 杯分の汁重量



学校間の差異が大きく、保健所管内別に集計することを控えた。

(参考)

○「秋田スタイル健康な食事」のみそ汁のイメージ

塩分濃度 0.8%+野菜等の具材がたっぷり

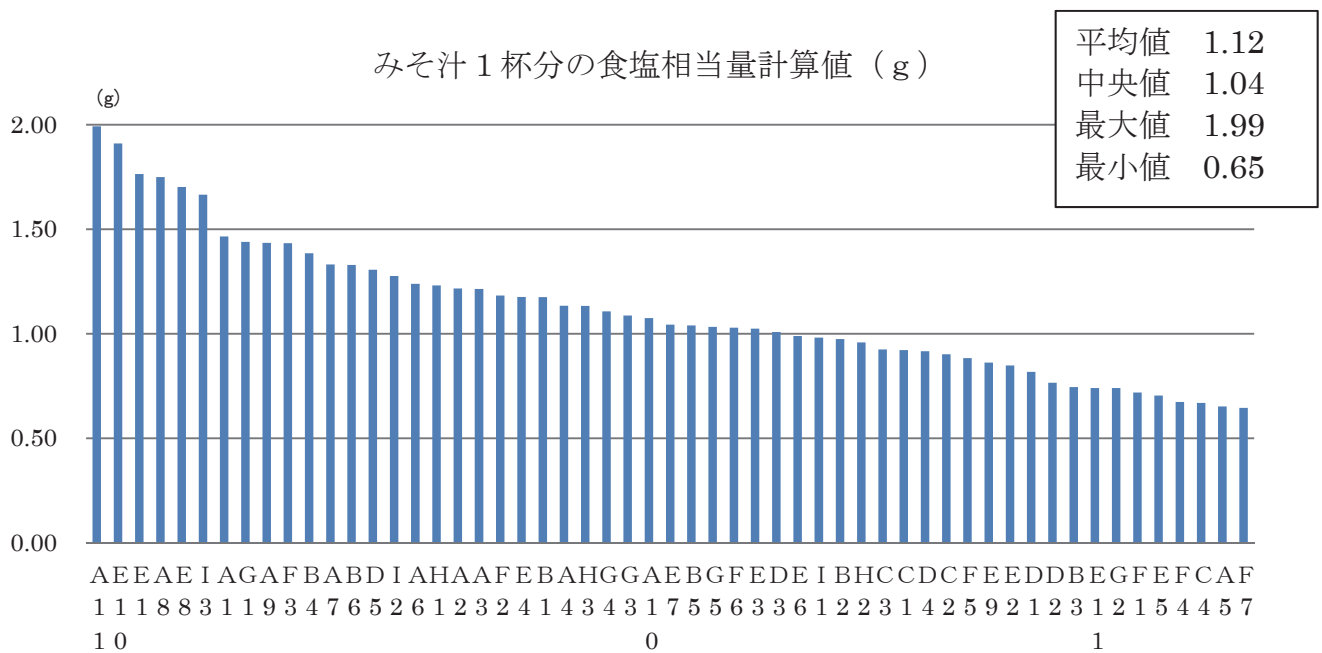
○文部科学省告示学校給食実施基準より

児童（10歳～11歳）の一人一回あたりの学校給食食塩相当量

調査時（令和2年10月～12月） 2.5g 未満

一部改正後（令和3年4月1日） 2g 未満

塩分濃度と汁重量からの食塩相当量計算値



学校間の差異が大きく、保健所管内別に集計することを控えた。

【食塩相当量が多いみそ汁の塩分濃度と汁重量】

給食施設	1杯あたり汁分の 食塩相当量(g)	塩分濃度(%)				1杯分の汁重量(%)			
		確定値①	確定値②	確定値③	平均	汁重量①	汁重量②	汁重量③	平均
1	1.99	0.69	0.85	0.88	0.81	284	240	216	247
2	1.91	0.68	0.84	0.77	0.76	252	188	311	250
3	1.76	0.61	0.73	0.65	0.66	301	235	262	266
4	1.75	0.71	0.70	0.78	0.73	237	234	248	240
5	1.70	0.75	0.61	0.73	0.70	232	242	259	244

【食塩相当量が少ないみそ汁の塩分濃度と汁重量】

給食施設	1杯あたり汁分の 食塩相当量(g)	塩分濃度(%)				塩分濃度(%)			
		確定値①	確定値②	確定値③	平均	汁重量①	汁重量②	汁重量③	平均
1	0.65	0.54	0.49	0.58	0.54	100	140	121	120
2	0.65	0.82	0.73	0.71	0.75	64	124	72	87
3	0.67	0.51	0.55	0.56	0.54	110	159	103	124
4	0.67	0.53	0.57	0.58	0.56	142	130	89	120
5	0.70	0.73	0.71	0.56	0.67	69	153	95	106

3 調査結果のまとめと考察

(1) 野菜摂取について

『調理をする保護者』が子供の食習慣で「野菜が少ない」ことを問題があると感じている者が47.7%であるのに対して、『児童』が自分の食習慣で「野菜はあまり食べない」と認識している者は17.5%と少ないことから、『児童』と『調理をする保護者』との間で認識のずれが生じている可能性がある。こうしたことから、親子間で食生活について話し合う機会を持つと共に、具体的に望ましい野菜の摂取量をイメージできるようにすることが重要である。なお、平成28年調査（第2学年時）では保護者が子供の食習慣の問題として47.4%が「野菜が少ない」としており、保護者の捉え方に変化はなかった。「小食」は減少し「間食が多い」は増加するなど成長に伴い変化したものがあるが、「野菜摂取」については年齢に関わらず半数近くが問題としていることが明らかになった。

また、『調理をしない保護者』では「野菜を意識した食事の準備をするか」の問に対しては「時々意識している」は47.3%、「いつも意識している」は31.1%の回答であるが、『調理をする保護者』『調理をしない保護者』のいずれも、目標とする5皿以上摂取している者は20%以下であった。野菜摂取の妨げとなっている要因としては、『調理する保護者』は「価格が高い」が39.1%、「子供やほかの家族が食べてくれないため、食卓に出しにくい」が35.2%であり、『調理をしない保護者』は「外食・中食で野菜料理を選びにくい」が26.2%「家庭で食卓に野菜料理が出ない」が25.5%であった。以上より、大人では、「野菜摂取」を意識をしているが実行に結びついておらず、「野菜摂取」を妨げる理由が『調理をする者』と『調理をしない者』との間に認識の差があることがうかがえる。

今後は、家族間での「意識」「認識」の差異を明らかにし、家族ぐるみで野菜摂取に取り組む気運醸成のため関係機関と連携し環境整備を進める必要があると考えられる。

(2) 「健康」「食生活」に関する情報源について

「健康」と「食生活」に関する『児童』の情報源は「お家の人」「学校からのお便りやパンフレット」が、信頼する情報源としては「栄養教諭」「お家の人」の順で多かった。また、『調理をする保護者』の情報源では「新聞・テレビ」「学校」が、信頼する情報源としても「病院・診療所」「新聞・テレビ」と並んで「学校」が上位にあがっていた。

こうしたことから、子供と大人に共通している学校からの情報、特に学校からの情報源として『調理をする保護者』の90.7%が参考としている「給食だより」の活用と

その内容の充実を図ることが効果的と考えられる。

また、『調理をする保護者』の「天然だしのとり方や実行」は「知っているが実行していない」が 67.8%であり、「家庭のみそ汁の塩分濃度測定」は「したことがない」が 81.7%であったことから、『調理する保護者』に対しては「知識の普及」や「情報の提供」だけではなく、行政や食生活改善推進員など栄養・食生活に関わる地域ボランティアが学校行事と連携するなどして、減塩に向けた具体的な調理方法等を体験できる機会の提供拡充が望まれる。

（３）食生活改善のきっかけについて

『調理をしない保護者』では、食生活改善のきっかけとして「健康診断の結果」が 74.4%、「体重計・血圧計などの測定値上昇」が 54.1%など健康状態を数値等で示されたことによるものが多く、食生活改善の取組を持続させるものとしても「健康診断結果や、体重計・血圧計の測定値で効果がみえること」が 76.2%で多かった。これらのことは、健康状態が悪化しないと食生活改善に取り組むきっかけとはならない反面、健康状態の改善には食生活改善による効果の期待が大きいことがうかがえる。

こうしたことから、「体重」「血圧」など自ら継続的に測定できるものに加え、「みそ汁の塩分濃度」や「尿中のナトリウム・カリウム比」など食生活に関わる指標についても、気軽に測定できる機会を常設することが効果的と考えられる。

（４）学校給食について

県の健康課題解決のための目標である「減塩」に関連して、今回、調査をした学校給食のみそ汁は、塩分濃度、一杯の重量、一杯の食塩相当量の全てにおいて、施設内の日差、学校間の差のどちらも大きかった。

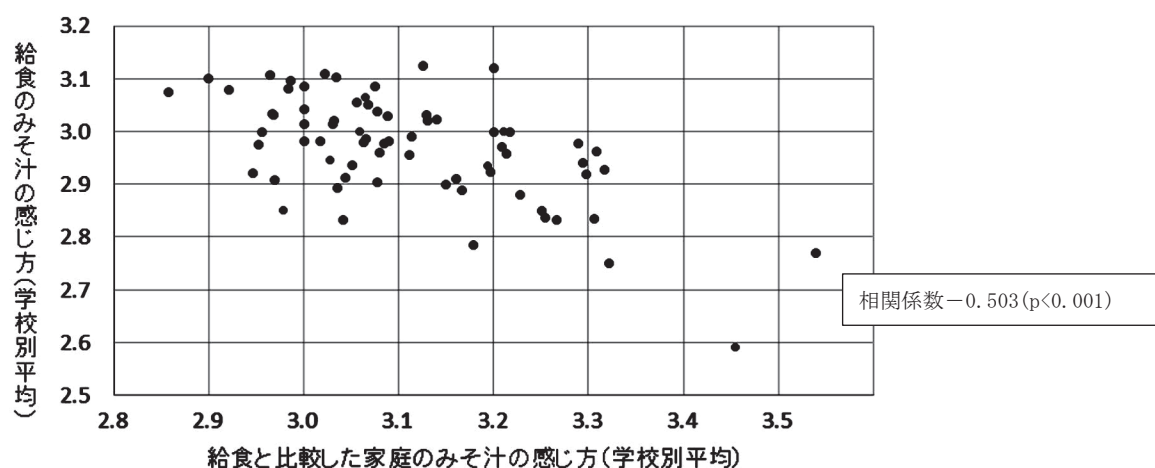
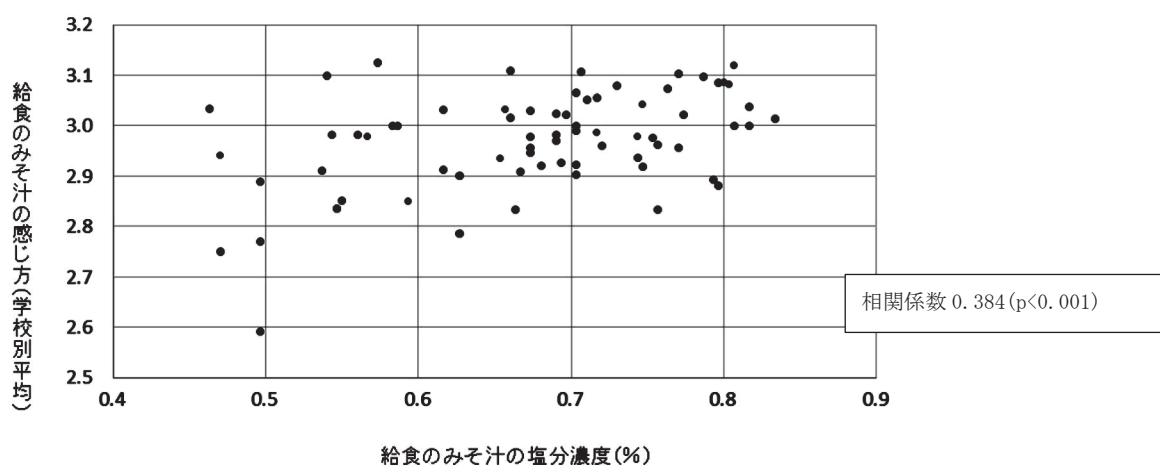
同一メニューであったり、調味料等の使用量が一定であるにもかかわらず差異がみられた場合があることから、一定の味付けができるよう調理員の調理技術の向上を図るとともに、みそやだし等の食材の見直しに取り組むことも必要と考えられる。

更に、みそ汁 1 杯で学校給食摂取基準の食塩相当量を満たす施設があり、栄養教諭及び学校栄養職員が栄養管理に対する認識を深めることが重要であり、関係職員の研修機会及び内容の拡充が望まれる。

一方、児童の給食みそ汁の味の感じ方（学校別平均値）と、給食みそ汁の塩分濃度とでは相関係数 0.384 ($p < 0.001$) で弱い正の相関がみられた。また、児童の給食みそ汁の味の感じ方（学校別平均値）と給食みそ汁と比較した家庭みそ汁の味の感じ方（学校別平均値）とでは、相関係数 -0.503 ($p < 0.001$) で負の相関がみられたことから、給食みそ汁の味をうすく感じると家庭みそ汁の味は給食みそ汁と比較して濃く感じられる傾向にあることを示唆している。

また、給食みそ汁を「濃い（少し、かなり）」とした割合が多い保健所は、塩分濃度測定値が高値の給食施設（学校、給食センター）が多く、児童はみそ汁の塩分濃度（味の濃さを）感じとることができることを示唆していると考えられる。更に、給食みそ汁の味と比較して家庭みそ汁の味が濃い（少し、かなり）とした割合が多い保健所は、塩分濃度が低値の給食施設（学校、保健センター）が多かった。

こうしたことから、子供は比較的、味の濃さを感じることができ、学校給食を「生きた教材」として活用することは有効であることがうかがわれる。特に、行政栄養士の配置が少ない地域においては、「うす味習慣の定着」に学校給食の果たす役割は大きいことが考えられる。

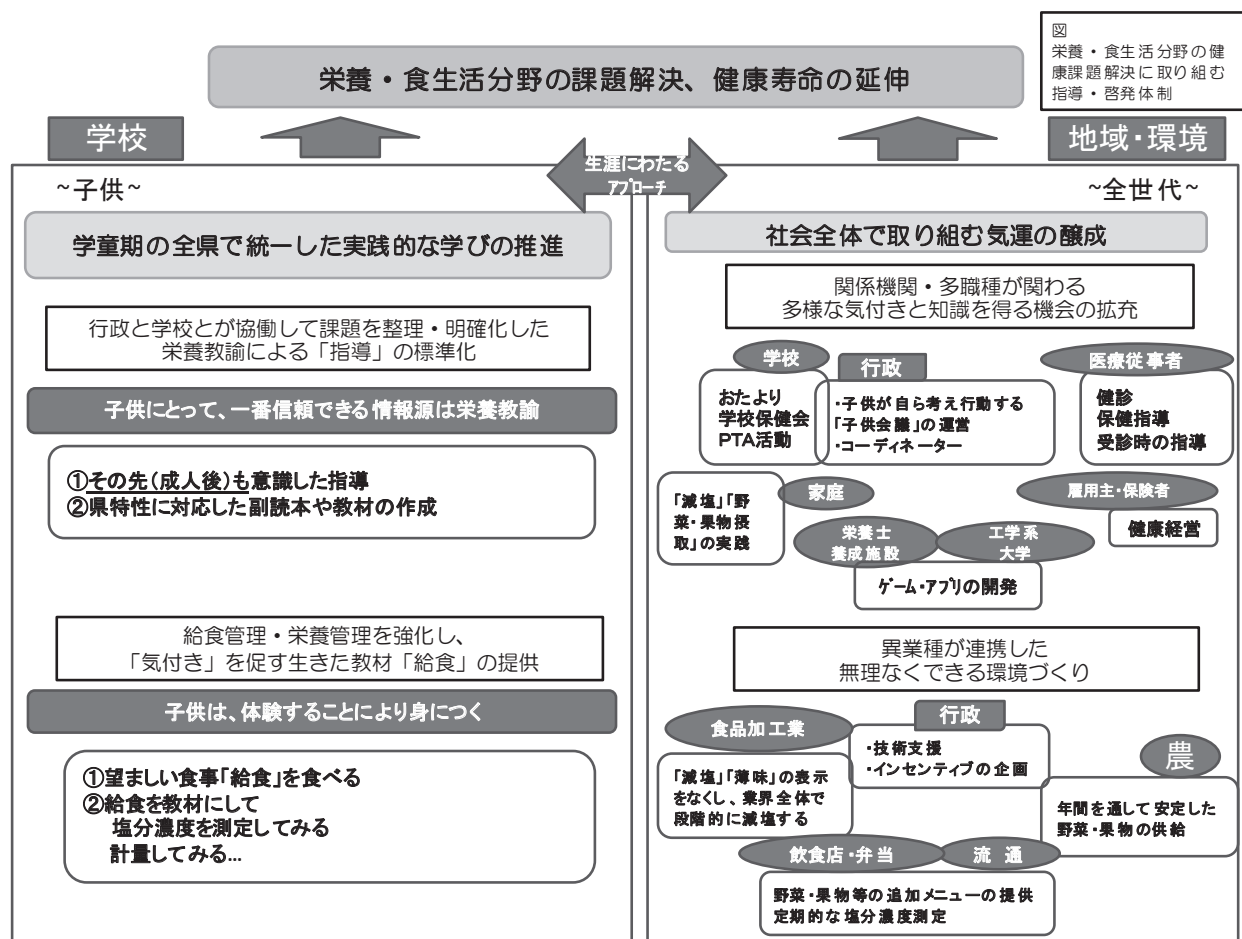


給食（家庭）みそ汁の感じ方

- | | | | | | |
|---|--------|---|-------|---|---------------|
| 1 | かなりうすい | 2 | 少しうすい | 3 | ちょうどよい（同じくらい） |
| 4 | 少し濃い | 5 | かなり濃い | | |

IV 施策の方向性について

調査結果から、健康づくり審議会 栄養・食生活分科会より施策の方向性について意見を得たので、次の図に示す。



従来の全世代を対象とした環境整備等の取組に加え、学童期の実践的な学びと学校からの保護者へのアプローチの必要性が示された。

具体的な事業等への展開については、次のとおりである。

(1) 行政と学校との方向性と課題の共有

- ①栄養教諭・学校栄養職員の共通認識の徹底
- ②栄養教諭・学校栄養職員以外の教職員との方向性の共有
- ③行政・学校との協働による「副読本」「教材」の作成

- (2) 学校給食基準（文部科学省告示）に対応した「学校給食」の提供
 - ① 日常的な塩分濃度測定等の実施
 - ② 県教委による指導及び健康増進法による保健所特定給食施設指導の強化
 - ③ 非センター方式の自治体においては、各給食施設従事者の資質の標準化
- (3) 「学校給食」の生きた教材としての活用
 - ① 児童による「給食」の塩分濃度測定と計量
 - ② 児童による研究、及び学校保健大会等での発表
- (4) 「学校」から「家庭」へ、「児童」から「保護者」への望ましい食習慣波及の推進
 - ① 関係者が「学校給食」は家庭における日常的な食生活の指標となり得ることの認識を深める。
 - ② 給食だよりをはじめとした学校からの「配布物」を最大限に活用
 - ③ 学校保健委員会での実践的な学び
 - ④ 家庭科、ふるさと教育、保健体育等の教科との連携
 - ⑤ P T A活動での取組
- (5) 子供の学びの場と成果の普及
 - ① 「子供会議」の実施

V 資料編

令和 2 年

子供と働き盛り世代の食習慣状況調査

調査票

学校への提出日 11 月 20 日（金）まで

【お願い】

本調査は、秋田県が「県民の健康づくり」や「生活習慣病予防の推進」のための基礎資料として実施する調査です。今回は、平成 28 年に調査をした「子どもと働きざかり世代の食習慣状況調査」の対象となった、現在小学校第 6 学年に在籍しているお子さん（当時小学校第 2 学年に在籍）とその保護者の方に対し、食習慣や食習慣に関する考え方などをお聞きします。

調査票の 1～2 ページまではお子さんに、3～6 ページまでは調理を担当する保護者の方に、7～9 ページまではそれ以外の保護者の方にお聞きします。

回答は無記名で、世帯や個人が特定出来ない形となっておりますので、調査票に書かれた事柄は厳しく秘密が守られます。また、その他の目的に用いることは決してありません。

調査の重要性を御理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。

秋 田 県

6年生のみなさんが答えてください。

問1 自分の食習慣について、当てはまるものをいくつでも選びましょう。

- 1 いつも好ききらいなく食事をしている
- 2 好ききらいがある
- 3 塩辛いものが好きでよく食べる
- 4 甘い物が好きでよく食べる
- 5 辛いものが好きでよく食べる
- 6 揚げものや肉の脂身が好きでよく食べる
- 7 カルシウムの多い食品（牛乳やチーズ、小魚など）はあまり食べない
- 8 野菜はあまり食べない

「8 野菜はあまり食べない」を選んだ人へ

野菜をあまり食べないのは、なぜですか。当てはまるものをすべて選びましょう。

- A 野菜を食べるのが苦手だから
 - B 野菜を食べることがそれほど大切とは思わないから
 - C 家庭で食卓に野菜の料理があまり出ないから
 - D その他
- 9 食物せんの多い食品（さつまいもやこぼうなど）はあまり食べない
 - 10 食べ過ぎてしまうことが多い
 - 11 少食である
 - 12 間食をすることが多い
 - 13 食事をとらないことがある
 - 14 外食をしたり、お店で売っているおかずを食べたりすることが多い
 - 15 その他

問2-1 いつもの給食のみそ汁の味は、あなた自身にとってどのように感じますか。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1 かなりうすい | 2 少いうすい | 3 ちょうどよい |
| 4 少し濃い | 5 かなり濃い | |

問2-2 お家のみそ汁は、いつもの給食のみそ汁の味と比べて、どう思いますか。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1 かなりうすい | 2 少いうすい | 3 同じくらい |
| 4 少し濃い | 5 かなり濃い | |

問3 「健康と食生活に関する情報」はどのようにして知ることが多いですか。

当てはまるものをいくつでも選びましょう。

- 1 担任の先生から
- 2 担任以外の栄養教諭や学校栄養士の先生から
- 3 学校で配られるお便りやパンフレットなどから
- 4 お家の人から
- 5 友達や、知り合いの人から
- 6 病院や診療所などに行ったとき
- 7 新聞の記事やテレビ、ラジオの番組から
- 8 インターネットやスマートフォンなどから
- 9 コマーシャルやチラシなどの広告から

問4 「健康と食生活に関する情報」について、どこから（誰から）発信された情報だと信頼できますか。

自分が信頼できると思うものを3つまで選びましょう。

- 1 担任の先生から
- 2 担任以外の栄養教諭や学校栄養士の先生から
- 3 学校で配られるお便りやパンフレットなどから
- 4 お家の人から
- 5 友達や、知り合いの人から
- 6 病院や診療所などに行ったとき
- 7 新聞の記事やテレビ、ラジオの番組から
- 8 インターネットやスマートフォンなどから
- 9 コマーシャルやチラシなどの広告から

問5 健康で長生きするために、食生活で大切だと思うことは何だと思いますか。

当てはまるものをいくつでも選びましょう。

- 1 塩分をとりすぎないこと
- 2 野菜を食べること
- 3 三食（朝・昼・夕食）しっかり食べること
- 4 毎日朝食を食べること
- 5 間食を食べ過ぎないこと
- 6 栄養のバランスを考えて食べること
- 7 その他（ ）

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

ここから6ページまでは主に調理を担当する
保護者の方がお答えください。

最初に、回答を統計的に解析するために、差支えない範囲でお答えください。

1 お子様との続柄をお答えください。

- 1 父 2 母 3 祖父 4 祖母 5 その他

2 家族構成についてお答えください。

- 1 核家族 2 三世代以上の同居 3 その他

3 あなたの年齢をお答えください。

- 1 ~29 歳 2 30~39 歳 3 40~49 歳 4 50~59 歳
5 60~69 歳 6 70 歳以上

4 現在のあなたの就労状況について、当てはまるものを1つお答えください。

- 1 正規の社（職員）・従業員 2 パート・アルバイト 3 契約社員・嘱託
4 派遣社員 5 会社・団体等の役員 6 自営業者 7 家業従事者
8 家庭での内職など 9 家事専門従事者
10 その他

（1）お子様の食生活に関する質問です。

問1-1 お子様の食習慣について、問題があると思いますか。

- 1 ある 2 ない 3 わからない

問1-2 1-1で「1 ある」と答えた方へ

それは何でしょうか。当てはまるものをすべてお答えください。

- 1 好き嫌いがある 2 塩分が多い 3 甘い物が多い 4 辛いものが多い
5 油脂が多い 6 カルシウムが少ない 7 野菜が少ない
8 食物繊維が少ない 9 食べ過ぎ 10 少食 11 間食が多い
12 欠食がある 13 外食・惣菜が多い 14 その他

問2 お子様が2年生（前回調査）の時と現在とを比べて、「家庭の食事」で気をつけるようになったことはありますか。

- 1 ある（内容 ）
- 2 ない

（2）健康と食生活に関する情報についての質問です。

問3-1 健康に関する情報をどこから（誰から）得ますか。当てはまるものをすべてお答えください。

- 1 学校 2 県・市町村 3 家族 4 友人・知人（近所の人）
- 5 病院・診療所 6 新聞・テレビ
- 7 ウェブサイト 8 SNS・YouTube 等の投稿 9 広告

問3-2 3-1で「1 学校」と答えた方へ。給食便りを参考にしますか。

- 1 参考にする 2 参考にしない

問3-3 3-2で「1 参考にする」と答えた方へ

どういったところを参考にしますか。当てはまるものをすべてお答えください。

- 1 給食の内容確認 2 夕食の内容を考えるため（だぶり、不足感など）
- 3 食材や郷土料理等の情報 4 健康に関係のある情報
- 5 給食のエネルギー・栄養素
- 6 その他（ ）

問4 どこから（誰から）発信された情報だと信頼できると思いますか。一番強く思うものを1つお答えください。

- 1 学校 2 県・市町村 3 家族 4 友人・知人（近所の人）
- 5 病院・診療所 6 新聞・テレビ
- 7 ウェブサイト 8 SNS・YouTube などの投稿 9 広告

問5 「秋田健」という秋田県の健康に関するウェブサイトがあります。

このサイトについて知っていますか。

- 1 知らない 2 知っているが見たことがない
- 3 知っていて見たことがある 4 定期的に見ている・活用している

(3) あなた自身の野菜摂取についての質問です。

問6-1 あなたは1日に野菜料理を何皿食べていますか。下の図を参考にして
お答えください。

1 2皿以下 2 3皿 3 4皿 4 5皿以上

1 皿分



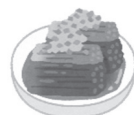
野菜サラダ



酢の物



きんぴら



お浸し



具たくさん味噌汁



付け合わせ野菜

2皿分



野菜炒め



煮物

問6-2 6-1で「1 2皿以下」、「2 3皿」、「3 4皿」と答えた方へ

野菜料理を多く食べることにに関して、どういったことが妨げとなっていますか。当て
はまるものをすべてお答えください。

- 1 野菜が苦手 2 野菜を食べることがそれほど重要とは思わない
3 子供やほかの家族が食べてくれないため、食卓に出にくい
4 調理が面倒 5 調理方法がわからない 6 価格が高い
7 その他（

問7 野菜の自給状況はどうですか。

- 1 ない 2 ほとんどない 3 季節や物によりできることがある

問8 1日の野菜量を意識して食事の準備をしますか。

- 1 しない 2 ほとんど意識しない 3 時々意識している
4 いつも意識している

(4) 食事の購入や準備に関する質問です。

問9 1週間の平均的な食材の買い出し頻度はどのくらいですか。

- 1 1回未満 2 1～2回 3 3～4回 4 5～6回 5 毎日

問10 食品を購入するにあたり、困難に感じることは何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。

- 1 店が遠い 2 移動手段が乏しい 3 価格 4 品質
5 何を買ったらよいかわからない 6 欲しいものが売っていない
7 時間がない、開店している時間に行けない 8 困難に感じることはない
9 その他

問11 みそ汁の塩分濃度を測定したことがありますか。

- 1 したことがない 2 したことがある 3 定期的に行っている
4 測定したことはないが機会があれば測定してみたい 5 測定したいと思わない

問12 天然だしのとり方を知っていますか。また、実行していますか。

- 1 知らない 2 知らないが実行してみたい 3 知っているが実行していない
4 実行している

問13 平日の平均的な夕食の調理時間はどのくらいですか。

- 1 20分未満 2 20～40分 3 40～60分 4 60分以上

問14 調理についてどう思っていますか。

- 1 嫌い 2 どちらかといえば嫌い 3 どちらかといえば好き 4 好き

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

ここから9ページまでは主に調理を担当されない

保護者の方がお答えください。

最初に、回答を統計的に解析するために、差支えない範囲でお答えください。

1 お子様との続柄をお答えください。

1 父 2 母 3 祖父 4 祖母 5 その他

2 あなたの年齢をお答えください。

1 ~29 歳 2 30~39 歳 3 40~49 歳 4 50~59 歳
5 60~69 歳 6 70 歳以上

3 現在のあなたの就労状況について、当てはまるものを1つお答えください。

1 正規の社（職）員・従業員 2 パート・アルバイト 3 契約社員・嘱託
4 派遣社員 5 会社・団体等の役員 6 自営業者 7 家業従事者
8 家庭での内職など 9 家事専門従事
10 その他

(1) 健康と食生活に関する情報についての質問です。

問1-1 健康に関する情報をどこから得ますか。当てはまるものをすべてお答えください。

1 学校 2 県・市町村 3 家族 4 友人・知人（近所の人）
5 病院・診療所 6 新聞・テレビ
7 ウェブサイト 8 SNS・YouTube 等の投稿 9 広告

問1-2 1-1で「1 学校」と答えた方へ。給食便りを参考にしますか。

1 参考にする 2 参考にしない

問1-3 1-2で「1 参考にする」と答えた方へ

こういったところを参考にしますか。当てはまるものをすべてお答えください。

- 1 給食の内容確認 2 食材や郷土料理等の情報
3 健康に関係のある情報 4 給食のエネルギー・栄養素
5 その他（ ）

問2 どこから(誰から)発信された情報だと信頼できると思いますか。一番強く思うものを1つお答えください。

- 1 学校 2 県・市町村 3 家族 4 友人・知人（近所の人）
5 病院・診療所 6 新聞・テレビ
7 ウェブサイト 8 SNS・YouTube等の投稿 9 広告

問3 「秋田健」という秋田県の健康に関するウェブサイトがあります。
このサイトについて知っていますか。

- 1 知らない 2 知っているが見たことがない
3 知っていて見たことがある 4 定期的に見ている・活用している

(2) あなた自身の野菜摂取についての質問です。

問4-1 あなたは1日に野菜料理を何皿食べていますか。下の図を参考にして
お答えください。

- 1 2皿以下 2 3皿 3 4皿 4 5皿以上

1 皿分



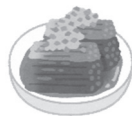
野菜サラダ”



酢の物



きんぴら



お浸し



具たくさん味噌汁



付け合わせ野菜

2皿分



野菜炒め



煮物



令和２年 子供と働き盛り世代の食習慣状況調査 学校給食みそ汁塩分濃度測定事務取扱要項
(学校・給食センター版)

令和２年９月２９日

健康福祉部健康づくり推進課

１ 趣旨

当該調査の解析のため、調査対象校で提供している「いつもの給食のみそ汁」の塩分濃度を把握する。

２ 対象

令和２年１０月から１２月２０日までに学校給食で提供した任意の３回分のみそ汁とする。

＊豚汁等の脂肪を含むものや、なめこ等とろみのある具材を使用したものは避けること。

３ 作業内容

調査対象校又は調査対象校に給食を提供している施設に所属する栄養教諭・学校栄養職員等の給食関係職員が作業を行うこととする。

(１) 調査日（みそ汁調理日）の設定

１２月２０日までの予定献立から対象となる日を３日間選ぶ。

(２) 保健所との調整

管轄保健所の問い合わせに対し、調査日（３日間）を伝え、１度に３回分のみそ汁を回収できるように最終調査日以降に回収日を調整する。

(３) 保存の準備

県で配布した保存用フリーザーバッグ３枚に、油性ペンで、①学校または給食センター名、②調査日を記入しておく。

(４) 調査当日

①みそ汁を通常の方法・分量でいつものように調理をする。

②できあがったみそ汁を児童が食べるものと同じ状態で（再加熱せず）、上澄みだけにならないようよくかきまぜ、高学年用の１人分を椀に盛り、乾燥している茶こしまたはザル等を使用し具材が入らないように、汁のみを保存用フリーザーバッグへ入れる。

③室温程度になったらジッパーをしっかりと閉め、マイナス１８度以下で冷凍保存する。なお、回収日が同日である場合はその限りではない。

(５) 保健所への提供

３回分のみそ汁は、冷凍または冷蔵状態のまま、当該みそ汁の高学年一人当たりの材料と分量がわかる調理用献立表等を添えて、保健所へ提供する。

４ 結果

確定値は県より本調査の集計・解析結果と併せて提供するが、希望があれば、これに先立ち管轄保健所より当該施設（学校・センター）の暫定値を提供する。

令和 2 年 子供と働き盛り世代の食習慣状況調査 学校給食みそ汁塩分濃度測定事務取扱要項
(保健所版)

令和 2 年 9 月 2 9 日

健康福祉部健康づくり推進課

1 趣旨

当該調査の解析のため、調査対象校で提供している「いつもの給食のみそ汁」の塩分濃度を把握する。

2 対象

令和 2 年 1 0 月から 1 2 月 2 0 日までに学校給食で提供した任意の 3 回分のみそ汁とする。

＊豚汁等の脂肪を含むものや、なめこ等とろみのある具材を使用したものは避けること。

3 作業内容

(1) 担当者の確認

市町村教育委員会等に連絡をとり、栄養教諭・学校栄養職員が未配置である学校・センターの担当者を確認する。

(2) 担当者への連絡

学校・施設の担当者へ連絡をし、採取・保存方法の確認、回収日の調整等を行う。回収日は 1 度に 3 検体を回収できるよう最終調査日以降とする。担当が栄養教諭・学校栄養職員以外である場合は、特に留意して詳細を確認し対応する。

(3) 回収

①回収時にその場で塩分濃度を測定する場合は、調査確定値とは異なることを説明し、特定給食施設等指導業務と併せて行うなど効果的な方法をとる。

＊施設で塩分濃度を測定した場合でも、必ず規定の検体を持ち帰り、規定の方法で測定する。

②当日または翌日に測定を予定していない場合は保冷状態で持ち帰り、速やかにマイナス 1 8 度以下で冷凍保存をする。

(4) 測定

①概ね調査日の 3 ヶ月以内に測定する。

②近隣保健所等の複数の管理栄養士が協力して作業することとし、測定機器はアタゴ社製ポケット塩分計 P A L - s i o シリーズを用い、同一検体を複数の機器で測定する。

③中性洗剤、ティッシュペーパー等を準備し、取扱説明書により測定手順を確認する。

④風袋込みの検体重量を 1 g 単位まで計量する。

⑤冷凍保存した検体は自然解凍し、室温（1 0 度から 3 0 度）と同じ状態で測定する。

⑥測定機器は、使用する前に必ず基準値の確認・校正とゼロ確認・ゼロ合わせを行う。

⑦検体は袋ごと振り攪拌後、上澄みだけにならないよう使い捨てスポイトを使用して滴下し、測定する。一検体につき各 3 回、複数の機器で測定する。

⑧使用した後に必ず基準値の確認を行い、最後も洗浄し水分を拭き取る。

4 測定結果

測定結果は、令和3年1月20日までに全庁共有フォルダの指定されたファイルに入力する。(秋田市分は県より送信されたファイルに入力し返信する。)

なお、入力する測定値は、使用後の基準液測定値が2.50%に一番近い機器で測定した3回分とする。

5 結果提供

確定値は、後日、県より本調査の集計・解析結果と併せて提供するが、当該施設(学校・センター)の希望があれば、これに先立ち、管轄保健所より測定結果を暫定値として提供することができる。

6 その他

使用した全ての機器の使用後の基準液測定値が2.50%±0.13以外であった場合は、検体を再度保存し、別の機器で測定する。

令和2年 子供と働き盛り世代の食習慣状況調査報告書

令和4年1月

発行者 秋田県健康福祉部健康づくり推進課

〒010-8570 秋田市山王4丁目1-1

電話018-860-1426

